

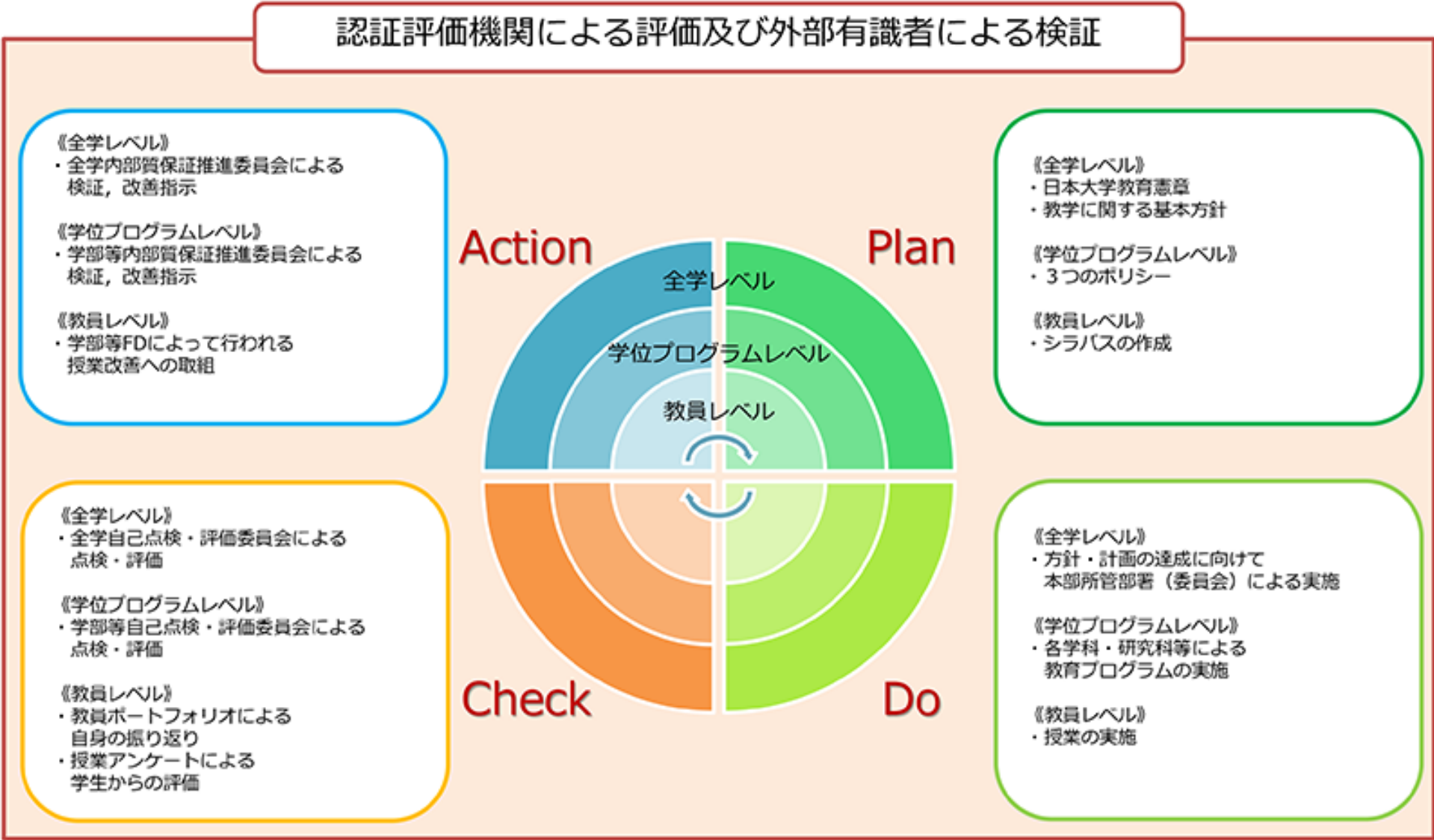
日本大学芸術学部

2023年度 1年生、2年生、3年生、4年生

GPS-Academic

受検結果報告

日本大学内部質保証に関するPDCAサイクル図（教学）



自己評価との ギャップの確認

姿勢態度の バランスを確認

思考力 ギャップ確認

確認案例

- ◆3つの思考力の到達度、社会に出るにあたって目標にしたい「A評価」との差、自己評価とのギャップを確認。
- ◆さらに「cam-do」で、自分の現状状況を詳しく確認し、「お役立ち動画」で理解を深めよう。

	思考力 思考力 A	思考力 思考力 B	思考力 思考力 C
評価	テスト結果 (自己評価)	テスト結果 (自己評価)	テスト結果 (自己評価)
S	達成 自己がある	達成 自己がある	達成 自己がある
A	達成 自己がある	達成 自己がある	達成 自己がある
B	達成 自己がある	達成 自己がある	達成 自己がある
C	達成 自己がある	達成 自己がある	達成 自己がある
D	達成 自己がある	達成 自己がある	達成 自己がある

※到達度は自己評価から、目標に
応じて必要な目標を取り出す
ことが大切です。

姿勢・態度 バランス確認

確認案例

- ◆問題解決を行うにあたって重要になる「姿勢・態度」を、より詳細に8つの項目で確認。
- ◆各項目のバランスから自分の強みを確認し、今後、意識して行動する点を考えよう。

経験 積み上がり度確認

確認案例

- ◆「思考力」「姿勢・態度」を磨くために、積んでおくべき「経験」到達度を、詳細な9つの観点で確認しよう。
- ◆経験は積み積みほど力になる。到達度100%を目指し、「今後すべきこと」のコメントを参考して明日から自分が取り組むべきことを考えよう。

自己管理能力を身につけるために必要な行動・経験

	今後すべきこと	到達度
目標設定	目標を設定し、達成するための計画を立てよう。 ◆目標設定は、達成するための計画を立てよう。 ◆目標設定は、達成するための計画を立てよう。	A
計画実行	計画を実行し、達成するための計画を立てよう。 ◆計画を実行し、達成するための計画を立てよう。 ◆計画を実行し、達成するための計画を立てよう。	A
フィードバック	計画を実行し、達成するための計画を立てよう。 ◆計画を実行し、達成するための計画を立てよう。 ◆計画を実行し、達成するための計画を立てよう。	B

対人関係の力を身につけるために必要な行動・経験

	今後すべきこと	到達度
多様な人々との交流	多様な人々との交流を行い、自己理解を深めよう。 ◆多様な人々との交流を行い、自己理解を深めよう。 ◆多様な人々との交流を行い、自己理解を深めよう。	B
関係性の構築	関係性を構築し、自己理解を深めよう。 ◆関係性を構築し、自己理解を深めよう。 ◆関係性を構築し、自己理解を深めよう。	A
課題の解決	課題を解決し、自己理解を深めよう。 ◆課題を解決し、自己理解を深めよう。 ◆課題を解決し、自己理解を深めよう。	B

計画・実行力を身につけるために必要な行動・経験

	今後すべきこと	到達度
計画の作成	計画を作成し、自己理解を深めよう。 ◆計画を作成し、自己理解を深めよう。 ◆計画を作成し、自己理解を深めよう。	B
計画の実行	計画を実行し、自己理解を深めよう。 ◆計画を実行し、自己理解を深めよう。 ◆計画を実行し、自己理解を深めよう。	C
実行・結果の評価	計画を実行し、自己理解を深めよう。 ◆計画を実行し、自己理解を深めよう。 ◆計画を実行し、自己理解を深めよう。	C

	到達度の見方
D (100-120点)	到達度の見方
C (120-140点)	到達度の見方
B (140-160点)	到達度の見方
A (160-180点)	到達度の見方
S (180-200点)	到達度の見方

GPS-Academic受験者ページにて、より詳しい活用方法を動画解説!

この学生生活に活かそう!

大学受験のための思考力、人間性、リーダーシップの力

「お役立ち動画」cam-doで学びを深めよう こちらよりアクセス

大学で積んでおくべき経験をアドバイス

1. 外部アセスメントご導入の背景

2. GPS-Academic概要

3. データご報告

(3 - 1) データ報告観点 と教育憲章8つの力の到達度検証

(3 - 2) 全学年結果サマリ

(3 - 3) 新入生・在校生結果

4. ご活用事例のご紹介

1年生：692名、2年生：385名、3年生：388名、4年生：338名の学生様にご受検頂きました

受検期間：2023年4月1日～2023年5月31日

	計	1年生	2年生	3年生	4年生
大学全体	37,810	13,093	8,832	8,709	7,176
芸術学部	1803	692	385	388	338

※比較データ：
22年度GPS-Academic全国データ（学問系統別・同一学生パネルデータ）（～2023年3月2日まで）
23年度GPS-Academic全国データ速報値（2023年4月1日～2023年5月31日まで）

■ 4年間の受検予定

	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
2020年度入学生	4年生			
2021年度入学生	3年生	4年生		
2022年度入学生	2年生	3年生	4年生	
2023年度入学生	1年生	2年生	3年生	4年生
2024年度入学生		1年生	2年生	3年生
2025年度入学生			1年生	2年生
2026年度入学生				1年生



2023年度のご報告	・大学で定める自主創造8つの力に対する主観での達成度（独自設問内）の集計結果 ・学部の各学年の特徴について
------------	---

■ 8つの力の検証（学生主観評価）



結果
・各学年20%以上の学生が、 ⑤「あきらめない気持ちで新しいことに果敢に挑戦する力」、⑥「他者の意見を聴いて理解し、自分の考えを伝える力」について「身についている」と回答していることが分かった。 ・一方で、到達度が全体を通して相対的に低い（「身についている」と回答した学生割合が10%前後）のが、 ①「経験や学修から得られた知識・教養に基づく倫理観」、および、②「世界情勢を理解し、国際社会が直面している問題を説明する力」であることも明らかとなった。 ・興味深い点として、③「得られる情報を基に論理的な思考、批判的な思考をする力」、④「事象を注意深く観察して問題を発見し、解決策を提案する力」、 ⑧「自分の学修経験を振り返って、その結果から自己を高める力」は年次が上がるごとに「身についている」と回答する割合が階段状に上がっており、 実感値が積みあがっていると仮説を立てることも可能かもしれない。

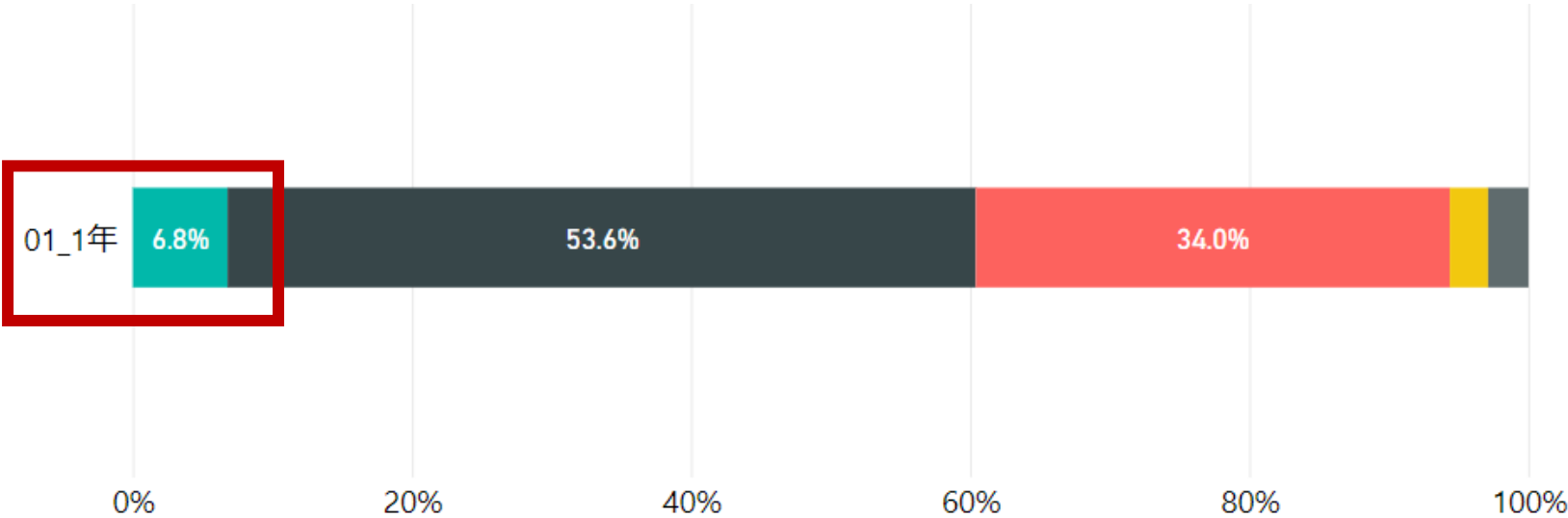
■ スコア結果概要

学年	結果
新入生	・大学全体・全国データと比較して、思考力への強みがうかがえた。 特に、入試区分別スコア平均を確認すると、一般選抜・付属系列校推薦を中心に、思考力の高い学生が入学している傾向が分かってきた。 ・姿勢態度に関しては、リーダーシップ（自主性・チャレンジ精神）やコラボレーション（共感性）のスコアが相対的に高い点も特長と言えそうである。 ・姿勢態度のスコアを反映してか、学生意識調査（アンケート）では、大学志望度や学びの意欲にも高い傾向が出ており、目的意識を持った学生像が推察された。
在校生	・新入生同様、大学全体・全国データと比較して、思考力への強みがうかがえた。 また、同一学生の結果ではないが、2年次、3年次、4年次とスコアの広がりが確認できる項目もあり、今後のパネルデータの積み上げに期待が持てる。 ・経験の項目においては、大学全体・全国データと比較して、スコアが低い項目が確認でき、学生の経験の積み上げの実感値が低い可能性が見受けられた。 ・学生意識調査（アンケート）では、就職に関する項目で不安を感じる割合が一定確認できるなど、就職支援の方向性に関しても議論の余地が見受けられそうである。

設問項目	新入生	在校生
8つの力の習得度① 経験や学修から得られた知識・教養に基づく 倫理観	【主観評価】 現時点でどの程度身に付けられていると思いますか。	【主観評価】 どの程度身に付いたと思いますか。
8つの力の習得度② 世界情勢を理解し、国際社会が直面している問題を説明する力		
8つの力の習得度③ 得られる情報を基に 論理的な思考、批判的な思考 をする力 		
8つの力の習得度④ 事象を注意深く観察して 問題を発見し、解決策を提案する力 		
8つの力の習得度⑤ あきらめない気持ち で新しいことに 果敢に挑戦する力		
8つの力の習得度⑥ 他者の意見を聴いて理解し、自分の考えを伝える力		
8つの力の習得度⑦ 集団の中で 連携しながら、協働者の力 を引き出し、 その活動を 支援する力		
8つの力の習得度⑧ 自分の学修経験を振り返って、その結果から 自己を高める力 		

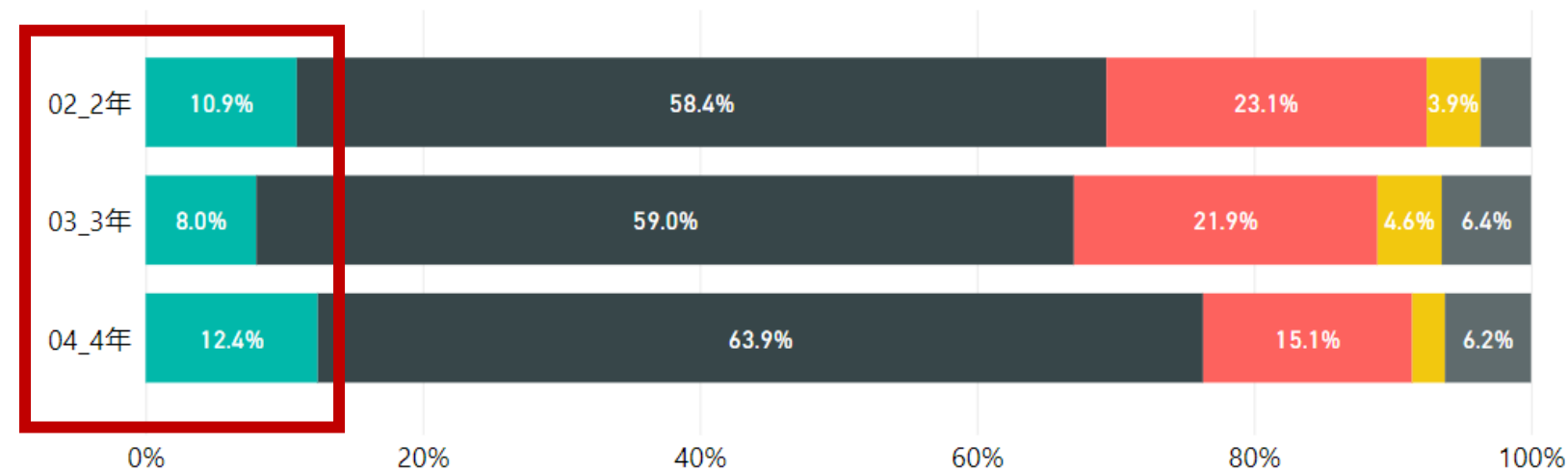
【新入生】現時点でどの程度身に付けられていると思いますか。

- 1_身に付けられていると思う
- 2_ある程度身に付けられていると思う
- 3_あまり身に付けられていないと思う
- 4_全く身に付けられていないと思う
- 99_無回答



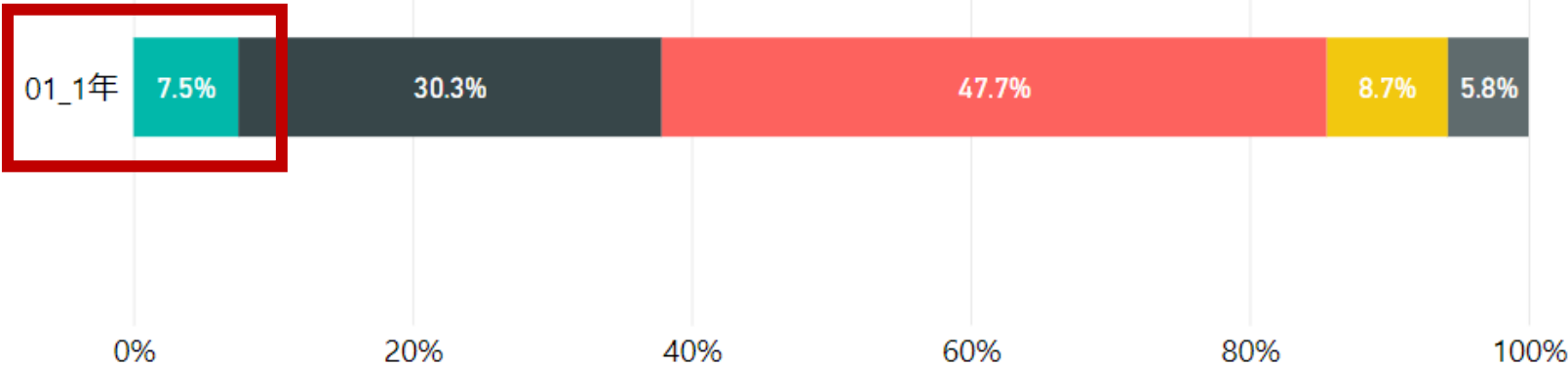
【在校生】どの程度身に付いたと思いますか。

- 1_身に付けられていると思う
- 2_ある程度身に付けられていると思う
- 3_あまり身に付けられていないと思う
- 4_全く身に付けられていないと思う
- 99_無回答



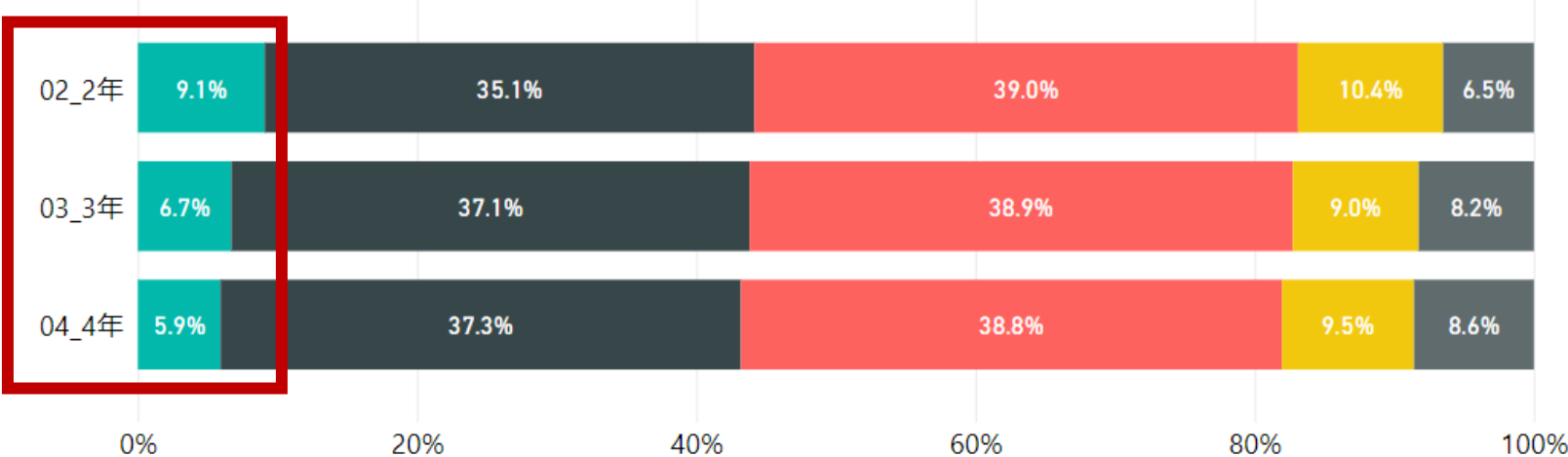
【新入生】現時点でどの程度身に付けられていると思いますか。

- 1_身に付けられていると思う
- 2_ある程度身に付けられていると思う
- 3_あまり身に付けられていないと思う
- 4_全く身に付けられていないと思う
- 99_無回答



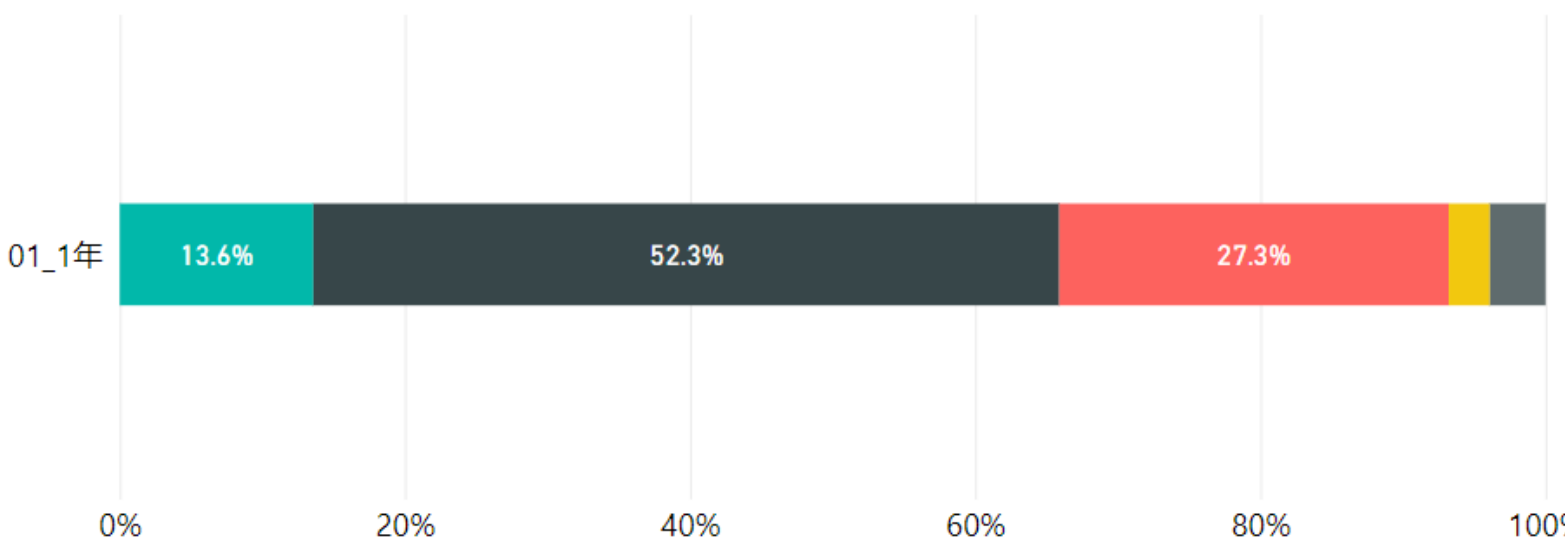
【在校生】どの程度身に付いたと思いますか。

- 1_身に付けられていると思う
- 2_ある程度身に付けられていると思う
- 3_あまり身に付けられていないと思う
- 4_全く身に付けられていないと思う
- 99_無回答



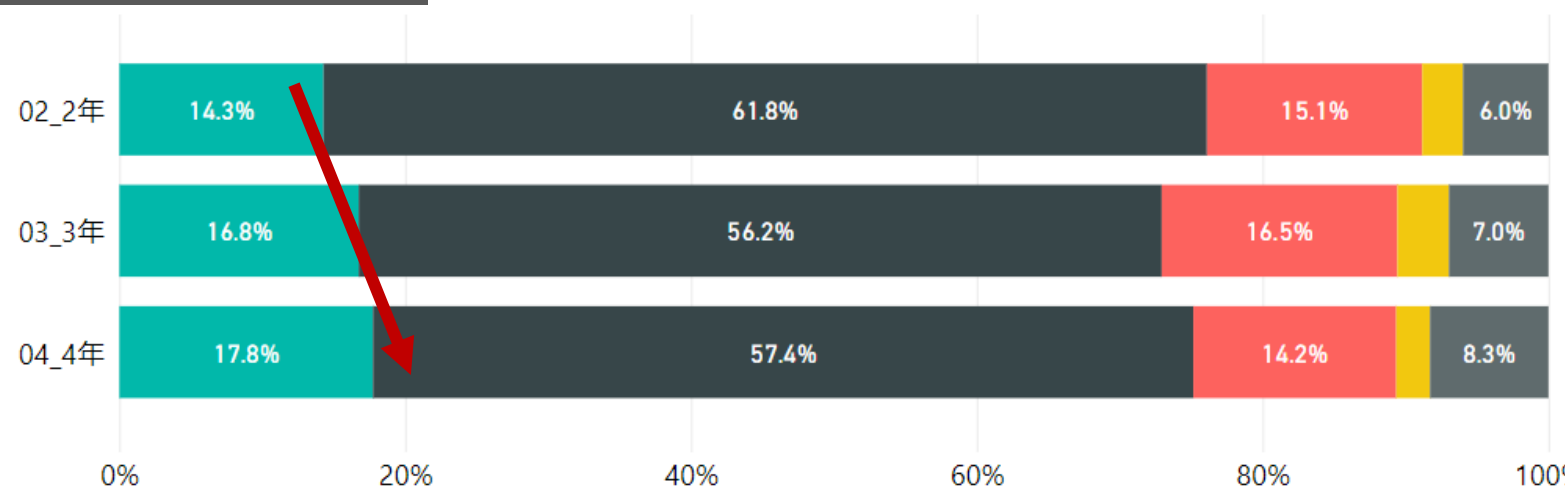
【新入生】現時点でどの程度身に付けられていると思いますか。

- 1_身に付けられていると思う
- 2_ある程度身に付けられていると思う
- 3_あまり身に付けられていないと思う
- 4_全く身に付けられていないと思う
- 99_無回答



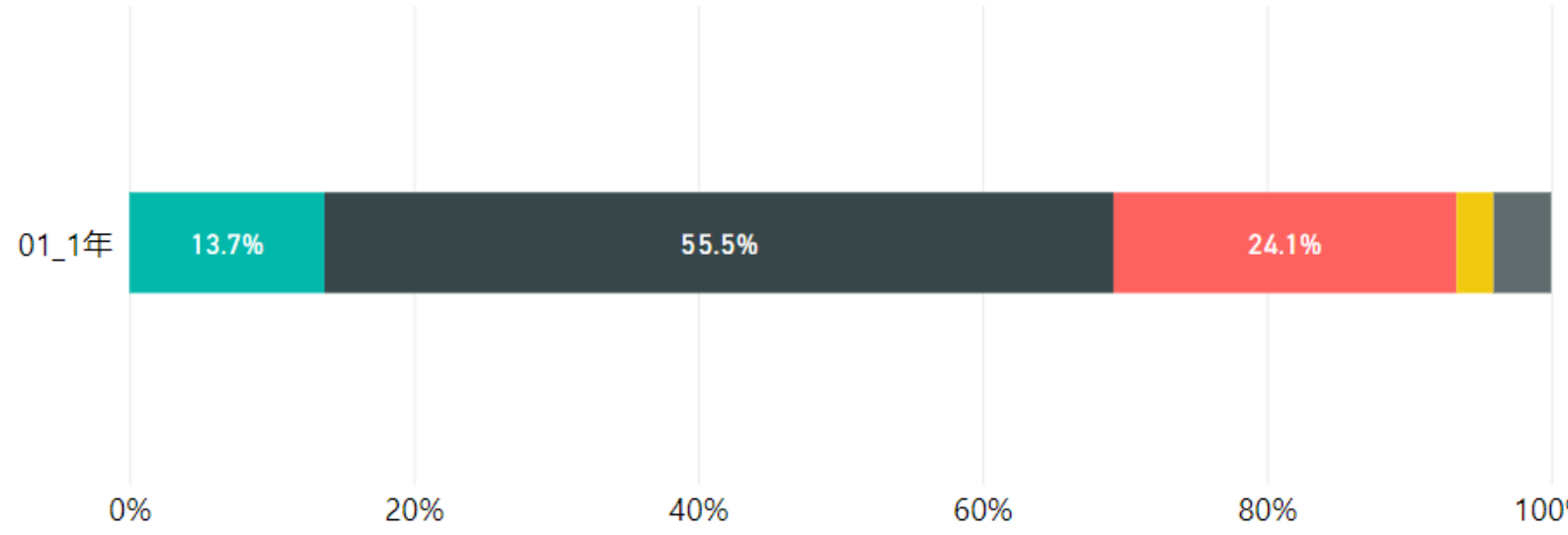
【在校生】どの程度身に付いたと思いますか。

- 1_身に付けられていると思う
- 2_ある程度身に付けられていると思う
- 3_あまり身に付けられていないと思う
- 4_全く身に付けられていないと思う
- 99_無回答



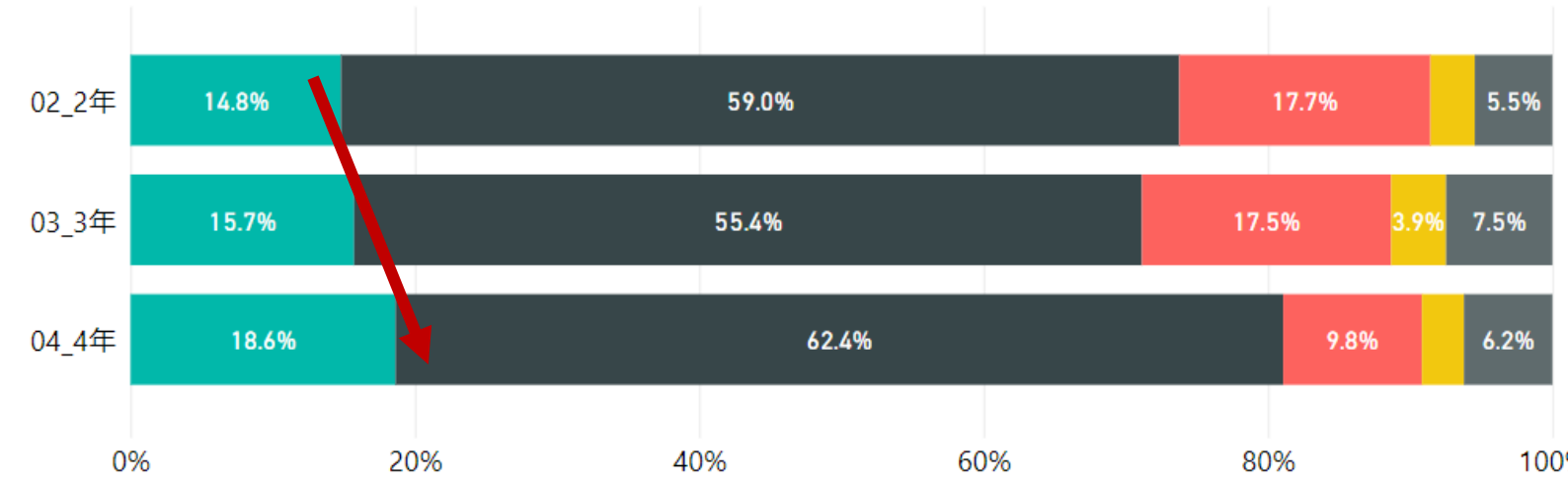
【新入生】現時点でどの程度身に付けられていると思いますか。

- 1_身に付けられていると思う
- 2_ある程度身に付けられていると思う
- 3_あまり身に付けられていないと思う
- 4_全く身に付けられていないと思う
- 99_無回答



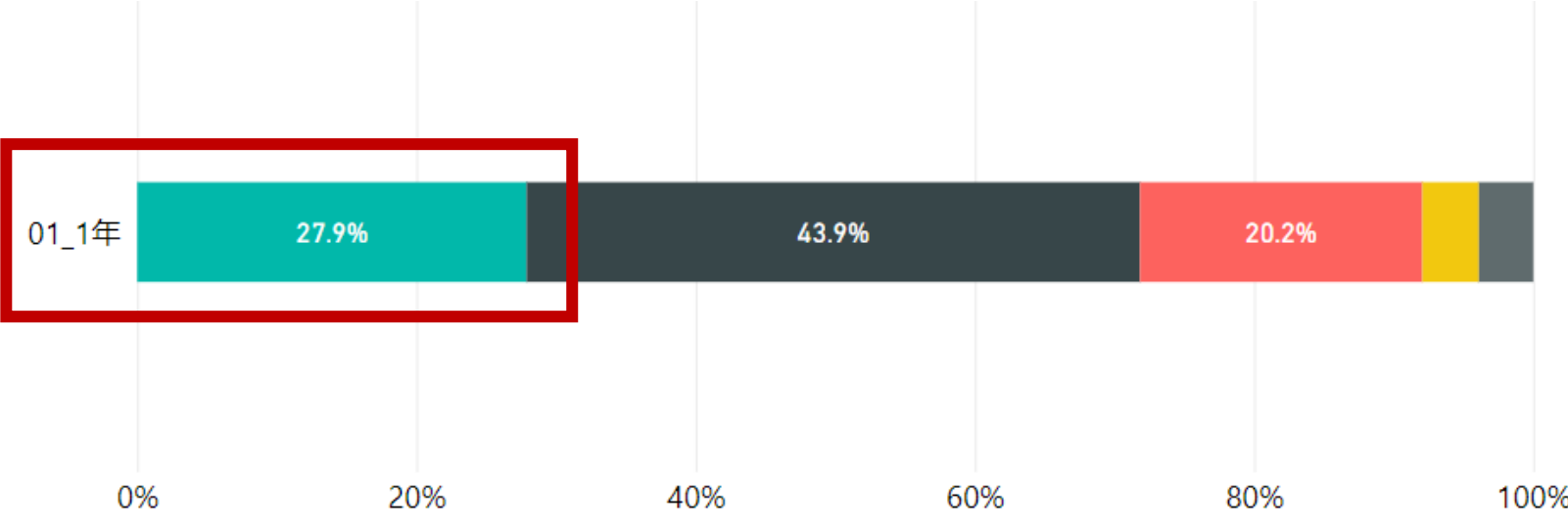
【在校生】どの程度身に付いたと思いますか。

- 1_身に付けられていると思う
- 2_ある程度身に付けられていると思う
- 3_あまり身に付けられていないと思う
- 4_全く身に付けられていないと思う
- 99_無回答



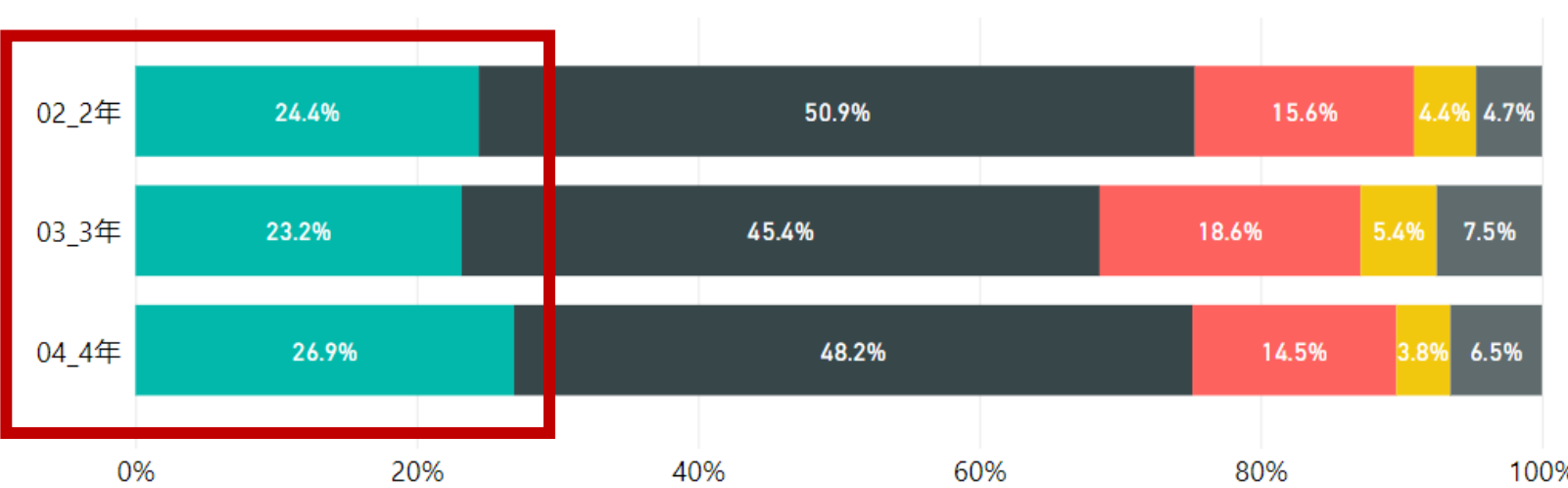
【新入生】現時点でどの程度身に付けられていると思いますか。

- 1_身に付けられていると思う
- 2_ある程度身に付けられていると思う
- 3_あまり身に付けられていないと思う
- 4_全く身に付けられていないと思う
- 99_無回答



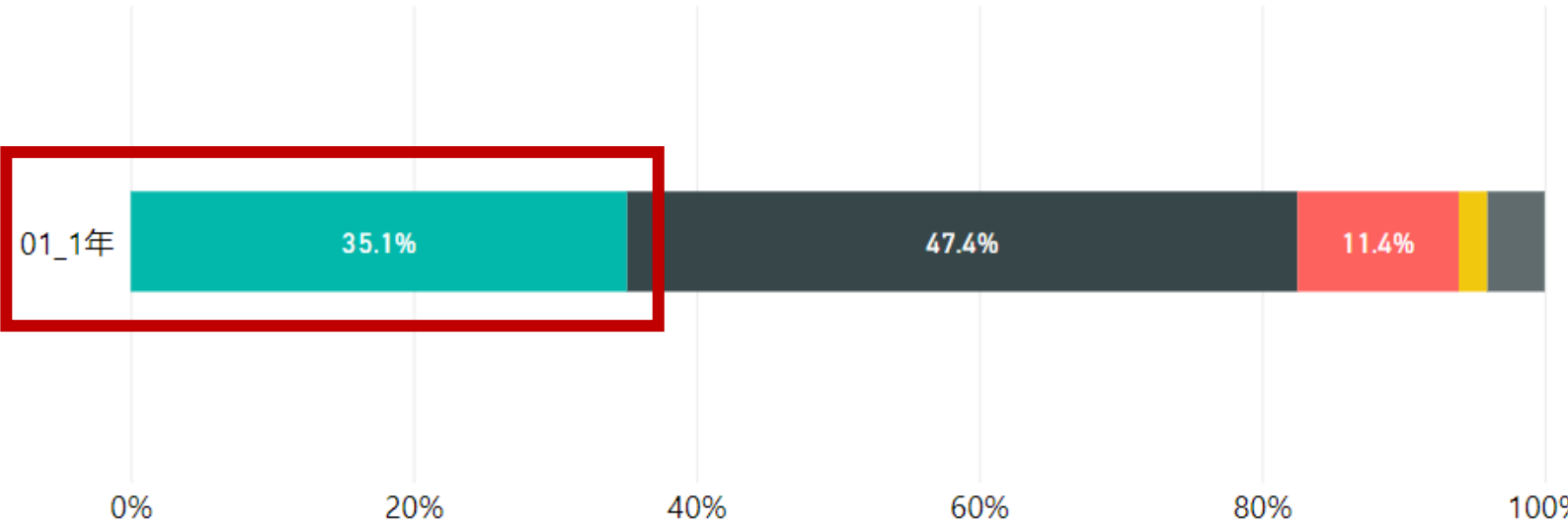
【在校生】どの程度身に付いたと思いますか。

- 1_身に付けられていると思う
- 2_ある程度身に付けられていると思う
- 3_あまり身に付けられていないと思う
- 4_全く身に付けられていないと思う
- 99_無回答



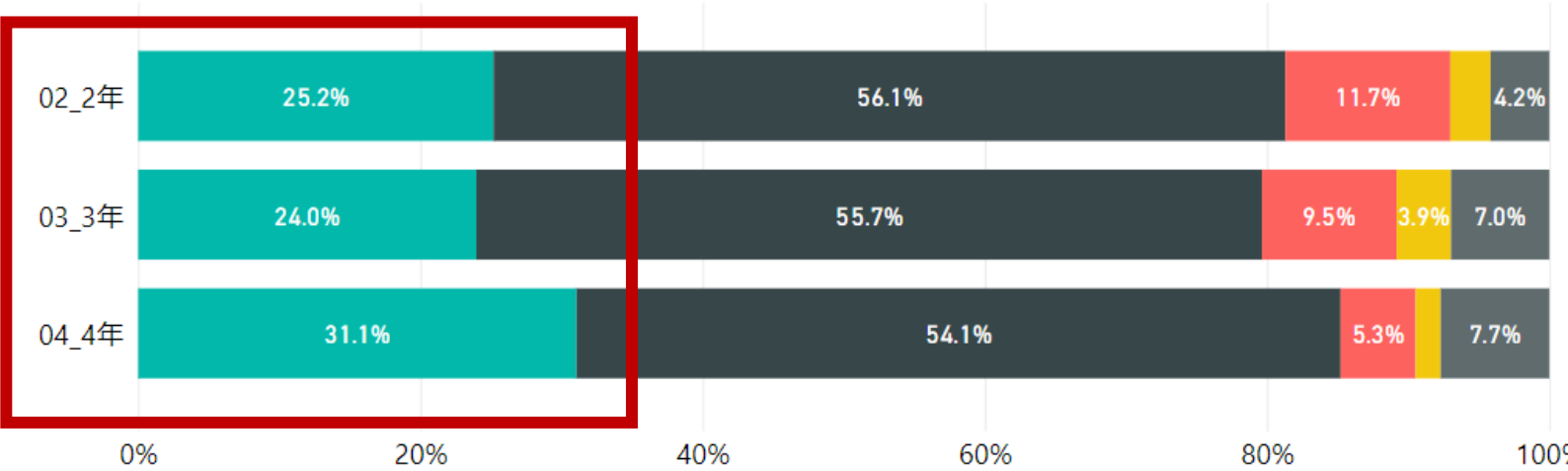
【新入生】現時点でどの程度身に付けられていると思いますか。

- 1_身に付けられていると思う
- 2_ある程度身に付けられていると思う
- 3_あまり身に付けられていないと思う
- 4_全く身に付けられていないと思う
- 99_無回答



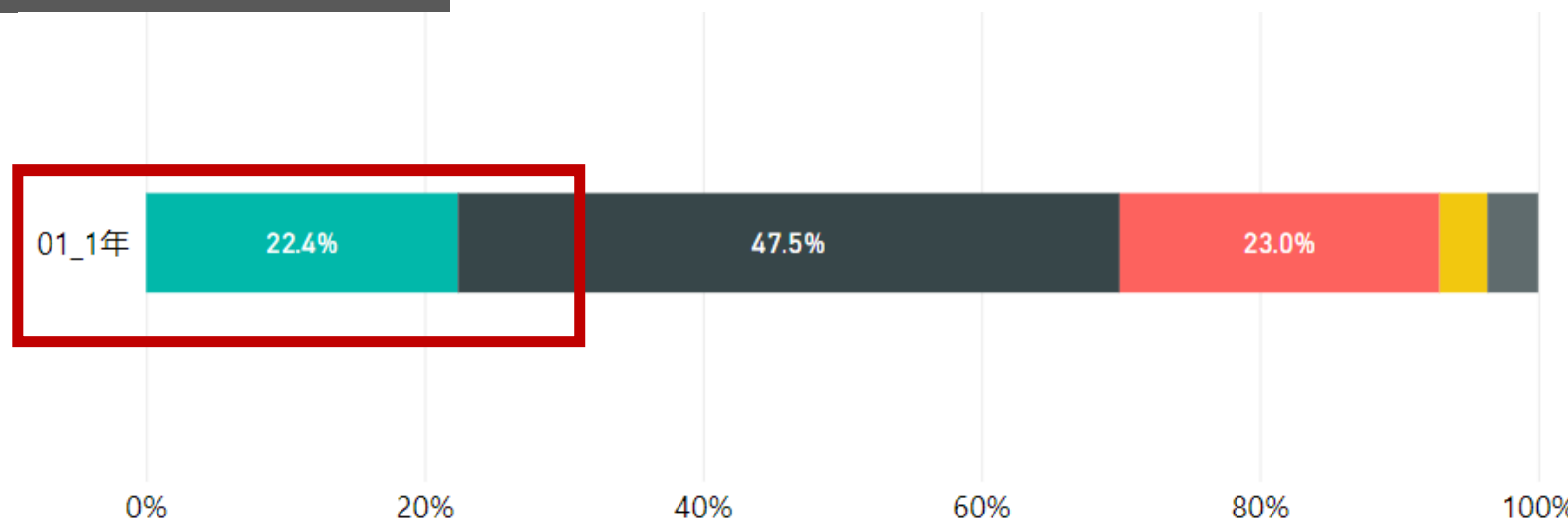
【在校生】どの程度身に付いたと思いますか。

- 1_身に付けられていると思う
- 2_ある程度身に付けられていると思う
- 3_あまり身に付けられていないと思う
- 4_全く身に付けられていないと思う
- 99_無回答



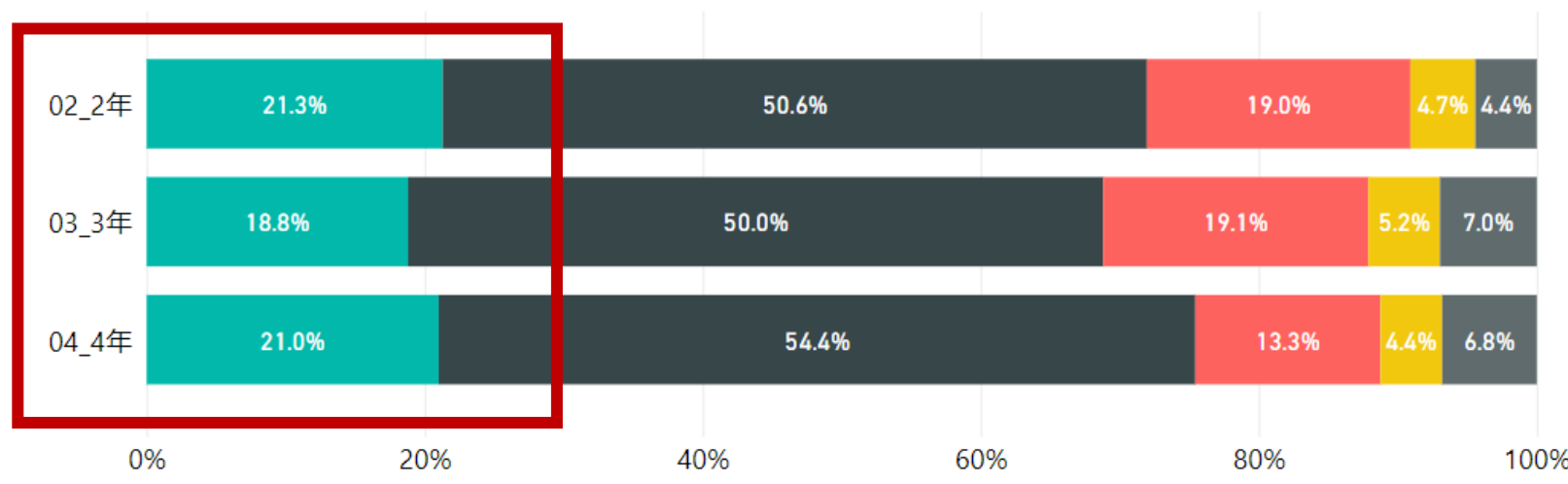
【新入生】現時点でどの程度身に付けられていると思いますか。

- 1_身に付けられていると思う
- 2_ある程度身に付けられていると思う
- 3_あまり身に付けられていないと思う
- 4_全く身に付けられていないと思う
- 99_無回答



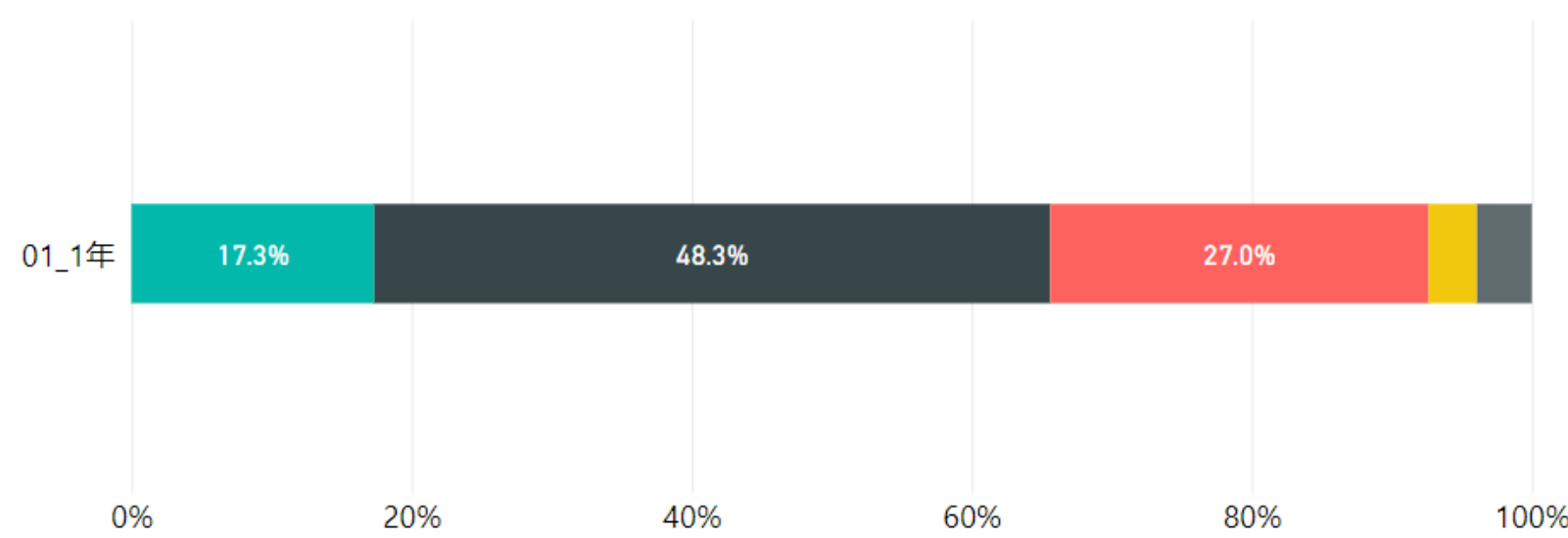
【在校生】どの程度身に付いたと思いますか。

- 1_身に付けられていると思う
- 2_ある程度身に付けられていると思う
- 3_あまり身に付けられていないと思う
- 4_全く身に付けられていないと思う
- 99_無回答



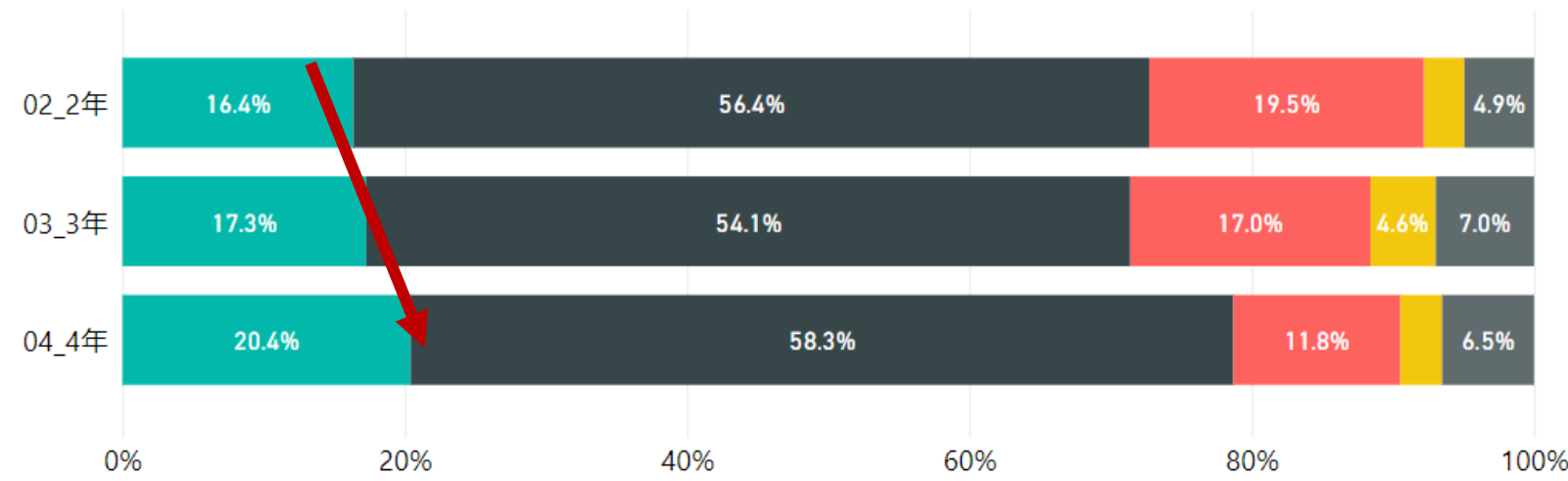
【新入生】現時点でどの程度身に付けられていると思いますか。

- 1_身に付けられていると思う
- 2_ある程度身に付けられていると思う
- 3_あまり身に付けられていないと思う
- 4_全く身に付けられていないと思う
- 99_無回答



【在校生】どの程度身に付いたと思いますか。

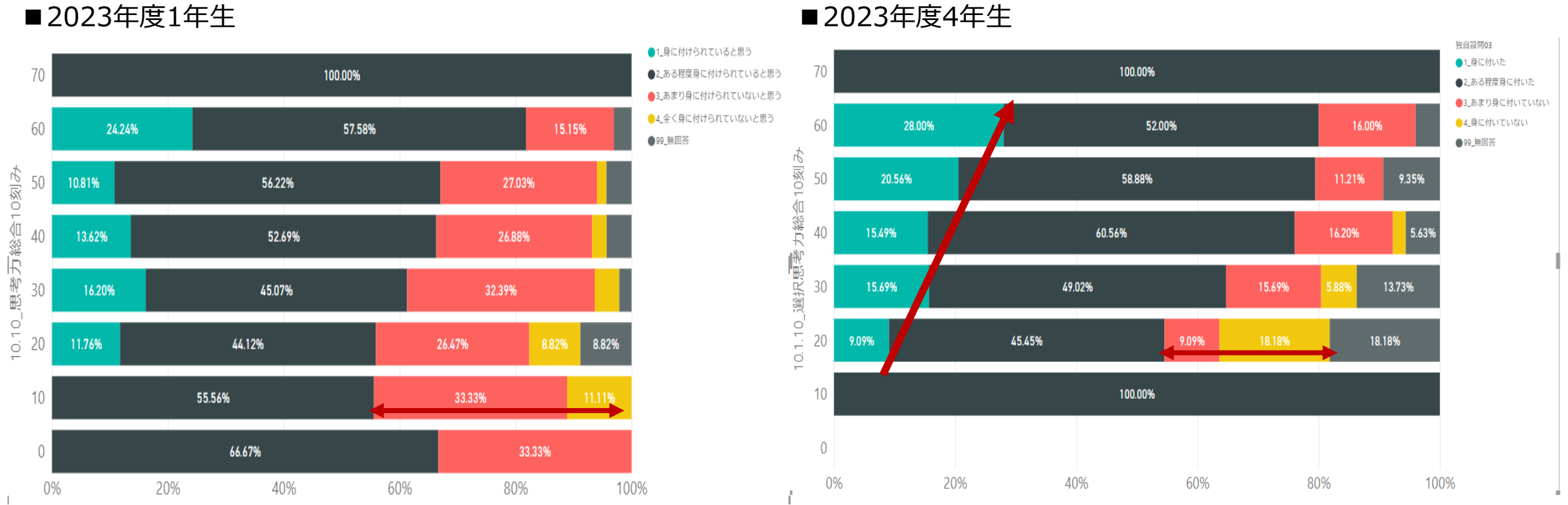
- 1_身に付けられていると思う
- 2_ある程度身に付けられていると思う
- 3_あまり身に付けられていないと思う
- 4_全く身に付けられていないと思う
- 99_無回答



【客観】GPS-A：思考力総合（10刻みスコア）

×

【主観】8つの力到達度評価（アンケート結果）
：設問「8つの力の習得度③得られる情報を基に論理的な思考，批判的な思考をする力」
がどれくらい身についているか？



情報の精査・整理・応用する力を測定している**思考力総合（客観）スコア※10刻み**と**8つの力の（主観）到達度評価**のクロス分析を1年次・4年次で比較した。
同一学生の比較ではないものの、以下の点がうかがえる。

- ①1年次と比較して、4年次には思考力客観スコアが高い学生ほど「身についた」と回答している割合が高くなっており、階段状に積みあがっている。
- ②1年次と比較して、4年次には「（あまり）身につけていない」というネガティブな回答の割合が減少している。

1. 外部アセスメントご導入の背景

2. GPS-Academic概要

3. データご報告

(3 - 1) データ報告観点 と教育憲章8つの力の到達度検証

(3 - 2) 全学年結果サマリ

(3 - 3) 新入生・在校生結果

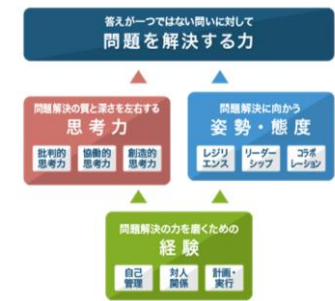
4. ご活用事例のご紹介

■8つの力の検証（学生主観評価）

結果
・各学年20%以上の学生が、 ⑤「あきらめない気持ちで新しいことに果敢に挑戦する力」、⑥「他者の意見を聴いて理解し、自分の考えを伝える力」について「身についている」と回答していることが分かった。 ・一方で、到達度が全体を通して相対的に低い（「身についている」と回答した学生割合が10%前後）のが、 ①「経験や学修から得られた知識・教養に基づく倫理観」、および、②「世界情勢を理解し、国際社会が直面している問題を説明する力」であることも明らかとなった。 ・興味深い点として、③「得られる情報を基に論理的な思考、批判的な思考をする力」、④「事象を注意深く観察して問題を発見し、解決策を提案する力」、 ⑧「自分の学修経験を振り返って、その結果から自己を高める力」は年次が上がるごとに「身についている」と回答する割合が階段状に上がっており、 実感値が積みあがっていると仮説を立てることも可能かもしれない。

■スコア結果概要

学年	結果
新入生	・大学全体・全国データと比較して、思考力への強みがうかがえた。 特に、入試区分別スコア平均を確認すると、一般選抜・付属系列校推薦を中心に、思考力の高い学生が入学している傾向が分かってきた。 ・姿勢態度に関しては、リーダーシップ（自主性・チャレンジ精神）やコラボレーション（共感性）のスコアが相対的に高い点も特長と言えそうである。 ・姿勢態度のスコアを反映してか、学生意識調査（アンケート）では、大学志望度や学びの意欲にも高い傾向が出ており、目的意識を持った学生像が推察された。
在校生	・新入生同様、大学全体・全国データと比較して、思考力への強みがうかがえた。 また、同一学生の結果ではないが、2年次、3年次、4年次とスコアの広がりが確認できる項目もあり、今後のパネルデータの積み上がりに期待が持てる。 ・経験の項目においては、大学全体・全国データと比較して、スコアが低い項目が確認でき、学生の経験の積み上がりの実感値が低い可能性が見受けられた。 ・学生意識調査（アンケート）では、就職に関する項目で不安を感じる割合が一定確認できるなど、就職支援の方向性に関しても議論の余地が見受けられそうである。



- ・**思考力** …全ての学年において、**大学全体・全国平均**を上回る結果となった。
- ・**姿勢態度**…自ら先頭に立って進める、未知の物に挑戦し、粘り強くやり抜く姿勢を示す【**リーダーシップ**】が相対的に高い傾向が見られる。
- ・**経験** …気になる観点として【**在校生**】における経験の積み上がりが、**大学全体・全国平均**を下回っており、学生の経験の積み上がり実感値に注目したい。

※23年度全国・全学データと比較し+2.0以上のスコアを青、-2.0以下のスコアを赤で表記しています。

			客観評価（スコア：0～100）							主観評価（達成度：0～100%）			
学年	受検対象	受検人数	問題解決の質を左右する 思考力				問題解決に向かう 姿勢・態度			問題解決の力を磨くための 経験			
			思考力 総合	批判的 思考力	協働的 思考力	創造的 思考力	レジリエンス	リーダーシップ	コラボレーション	経験総合	自己管理	対人関係	計画・実行
			—	情報を抽出し 吟味する力	他者との共通点 違いを理解する力	情報を関連付け 類推する力	感情の抑制、 立ち直りの早さ 状況に応じ 冷静に対応する 姿勢	自ら先頭に立っ て進める、 未知の物に挑 戦し、粘り強く やり抜く姿勢	相手の立場に 立とうとし、他者 と関わろうとする 積極性	—	挑戦する経験、 続ける経験、ス トレスに対処す る経験	多様性を受容 する経験、関係 性を築く経験、 議論する経験	課題を設定する 経験、解決策を 立案する経験、 実行・検証する 経験
1年生	23年度全国平均	-	42.4	42.3	43.5	41.1	48.1	47.2	49.8	56.9	54.4	60.2	56.1
	大学全体平均	13093	41.6	41.9	42.1	39.7	48.8	47.4	49.5	57.3	54.4	60.6	57.0
	芸術学部平均	692	45.5	44.3	48.2	44.5	48.0	49.6	50.6	59.3	55.4	65.0	57.4
2年生	23年度全国平均	-	42.7	42.9	43.6	41.1	48.2	46.7	48.4	55.9	52.8	58.7	56.2
	大学全体	8832	42.3	42.9	42.1	40.2	48.3	46.9	47.9	55.9	52.9	58.3	56.6
	芸術学部平均	385	46.0	45.5	47.2	45.6	46.9	48.2	48.0	54.9	50.8	59.4	54.5
3年生	23年度全国平均	-	44.3	44.5	45.5	43.0	48.6	47.3	48.9	55.9	52.2	59.6	55.9
	大学全体	8709	44.3	44.9	44.6	42.5	49.1	47.6	48.7	56.4	52.5	59.9	56.8
	芸術学部平均	388	47.8	47.4	49.8	47.0	47.3	48.2	48.2	54.5	49.5	60.5	53.5
4年生	23年度全国平均	-	44.8	45.4	45.6	43.1	50.6	49.9	50.2	59.7	56.3	63.2	59.4
	大学全体	7176	43.7	44.4	43.8	41.5	50.7	49.8	49.9	59.4	55.9	63.0	59.3
	芸術学部平均	338	47.6	47.0	50.7	46.5	48.7	50.7	49.4	57.7	52.3	64.3	56.5

貴学2023年度GPS-Academic結果												
		思考力総合	批判的	協働的	創造的	レジリエンス	リーダーシップ	コラボレーション	経験総合	自己管理	対人関係	計画実行
貴学部	1年生	45.5	44.3	48.2	44.5	48.0	49.6	50.6	59.3	55.4	65.0	57.4
貴学部	2年生	46.0	45.5	47.2	45.6	46.9	48.2	48.0	54.9	50.8	59.4	54.5
貴学部	3年生	47.8	47.4	49.8	47.0	47.3	48.2	48.2	54.5	49.5	60.5	53.5
貴学部	4年生	47.6	47.0	50.7	46.5	48.7	50.7	49.4	57.7	52.3	64.3	56.5

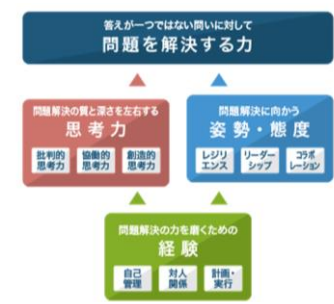
全国_学問系統別データ（2022年度・単年）												
※各学年同一学生のデータではございませんのでご注意ください。 ※学問系統別データは全国総計に比べn数に限りがあるため、データ精度を上げるべく2022年度（1年間）のデータを引用しております。												
全国_生活・芸術学系統	1年生	40.9	39.6	38.4	42.6	46.8	47.0	50.1	56.2	54.1	59.6	54.9
全国_生活・芸術学系統	2年生	41.1	39.6	39.0	43.3	47.3	46.9	49.6	55.9	52.8	59.4	55.4
全国_生活・芸術学系統	3年生	42.6	41.3	40.7	44.7	47.0	46.7	49.2	54.3	51.3	58.2	53.5
全国_生活・芸術学系統	4年生	39.6	37.1	38.4	41.6	48.5	48.2	49.4	56.6	53.6	60.5	55.8

全国_同一学生パネルデータ（2022年度）												
全国2020年度1年生	—	44.7	42.3	43.9	47.7	48.4	48.1	50.6	58.4	56.8	60.7	57.8
全国2022年度3年生	—	45.9	44.5	44.9	48.1	48.6	47.7	49.6	57.2	53.9	60.3	57.3
【差分】1年生→3年生		+1.2	+2.2	+1.0	+0.4	+0.2	-0.4	-1.0	-1.2	-2.9	-0.4	-0.5

おおむね**上昇**の傾向

維持・若干の下降

自己管理が大きく**下降**



一般選抜・付属系列校推薦を中心に、思考力の高い学生が入学している傾向がうかがえる。
一方で、高い学生と低い学生のギャップが大きい点も今後の支援策として議論のテーマにもなりえそうである。
なお、姿勢態度の項目ではほとんどの入試区分でその**リーダーシップの高さ**が確認できており、入学する学生の特長として述べることができそうである。

※23年度全国データと比較し+2.0以上のスコアを青、-2.0以下のスコアを赤で表記しています。

学年	受検対象	受検人数	客観評価（スコア：0～100）							主観評価（達成度：0～100%）			
			問題解決の質を左右する 思考力				問題解決に向かう 姿勢・態度			問題解決の力を磨くための 経験			
			思考力総合	批判的思考力	協働的思考力	創造的思考力	レジリエンス	リーダーシップ	コラボレーション	経験総合	自己管理	対人関係	計画・実行
			—	情報を抽出し吟味する力	他者との共通点違いを理解する力	情報を関連付け類推する力	感情の抑制、立ち直りの早さ状況に応じ冷静に対応する姿勢	自ら先頭に立って進める、未知の物に挑戦し、粘り強くやり抜く姿勢	相手の立場に立とうとし、他者と関わろうとする積極性	—	挑戦する経験、続ける経験、ストレスに対処する経験	多様性を受容する経験、関係性を築く経験、議論する経験	課題を設定する経験、解決策を立案する経験、実行・検証する経験
1年生	23年度全国データ	—	42.4	42.3	43.5	41.1	48.1	47.2	49.8	56.9	54.4	60.2	56.1
	00_一般選抜（旧：一般入試）	249	47.8	46.2	50.9	47.4	48.6	49.7	51.0	60.2	56.2	66.1	58.3
	20_学校推薦型選抜（指定校推薦入試）	7	37.9	43.1	35.5	36.4	48.5	49.2	49.7	51.8	44.3	59.0	52.1
	30_学校推薦型選抜（付属・系列校推薦入試）	124	45.0	44.7	47.1	43.1	47.7	48.1	49.7	57.9	54.9	62.9	55.9
	40_学校推薦型選抜（一般・公募推薦入試）	100	45.3	43.1	48.7	45.2	47.3	49.8	50.8	59.4	56.4	64.4	57.3
	50_推薦（校友）	8	36.6	34.9	39.5	34.7	49.2	45.6	51.4	52.3	48.5	57.1	51.3
	60_総合型選抜（旧：AO入試）	180	44.4	43.0	47.6	43.6	47.6	50.3	50.7	59.2	54.2	65.9	57.6
	80_留学生入試	17	34.7	39.1	28.8	27.7	48.7	51.0	48.8	62.4	61.7	63.8	61.7
	90_その他	7	46.4	42.3	53.2	41.9	47.9	50.8	53.8	58.7	51.2	71.9	53.1

思考力では、自ら課題を発見し、新たな価値を生み出しながら多様な人々と協働して問題を解決することができる学生の能力の可視化を目的としている。

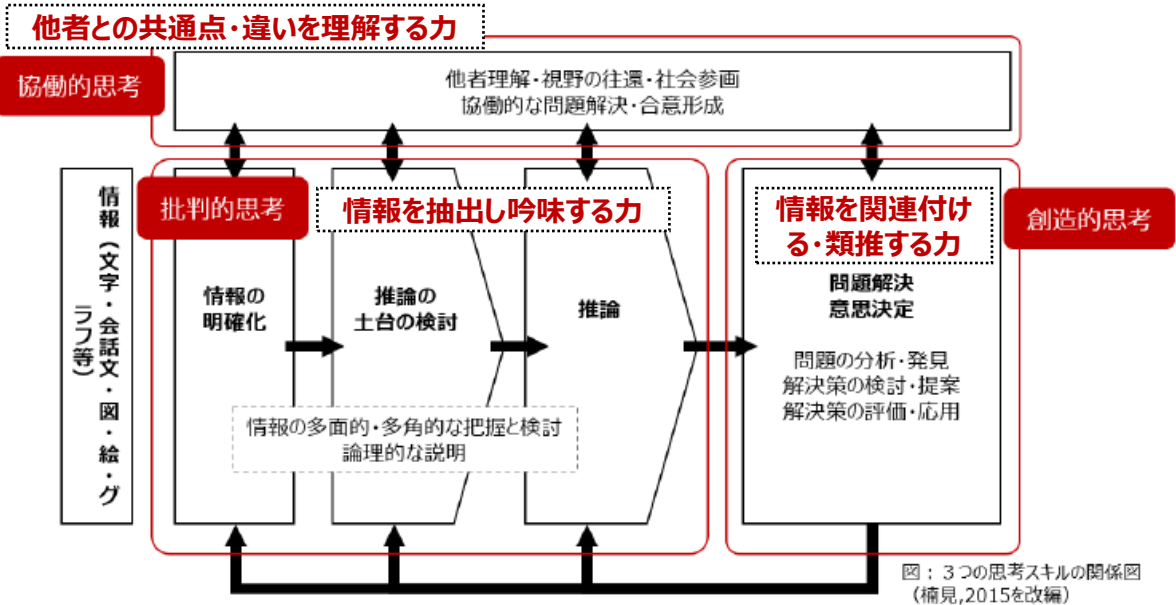
問題解決の質と深さを左右する

思考力

批判的
思考力

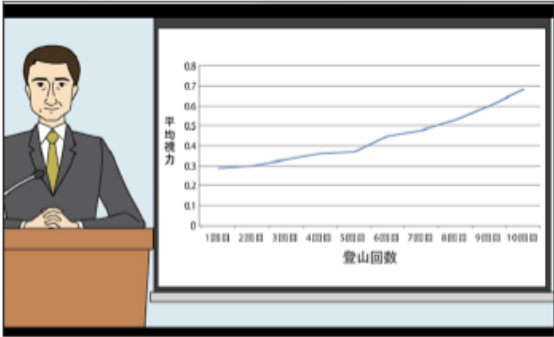
協働的
思考力

創造的
思考力



楠見孝, 道田泰司 (2015)「批判的思考～21世紀を生き抜くリテラシーの基盤」,新曜社
楠見孝 (2018)「批判的思考への認知科学からのアプローチ」, Cognitive Studies, 25(4), 461-474
「批判的思考力」「協働的思考力」

【出題】
「山登りの回数が多い人ほど視力が回復している」というニュースを見て、問いに答える。



出題の特徴
一般に混同されがちである「『相関関係』があるからといって『因果関係』があるとは限らず、
・偶然の一致
・因果関係が逆
・共通する第3の要因がある
・互いに影響し合っている
などの可能性を否定しなければ因果関係は証明できない。
本問では、上記のうち「第3の要因」の可能性を指摘することができるかを出題した。

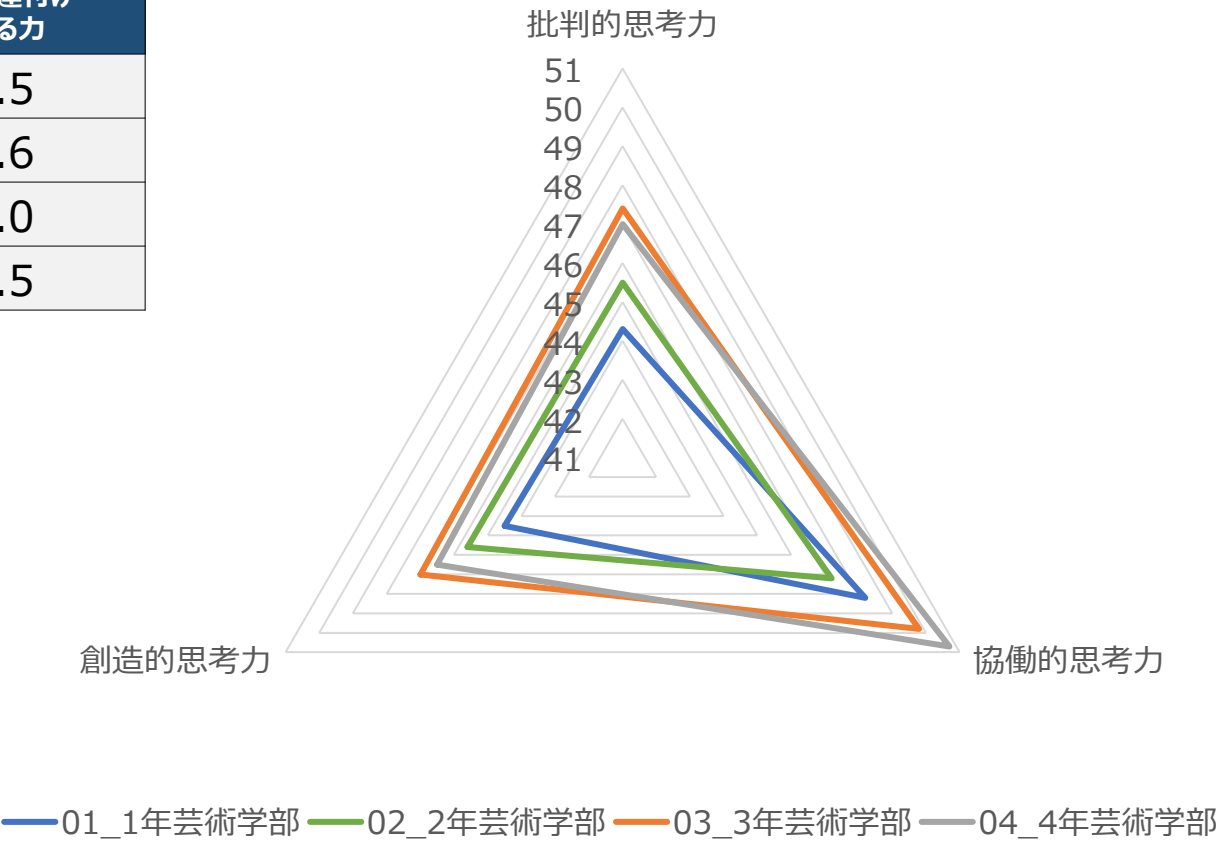
【問】
山登りが視力の回復に、本当に効果があるかどうか知りたいときに最も確認すべき情報はどれか。

- (A) 選択肢の構成
- (B) データの確からしさを確認する上では必要な4つの項目と正答である「第3の要因」を指摘する項目を選択肢として提示。正答以外の選択肢も確認すべきだが、「本当に効果があるか」と聞かれた場合、まず確認すべきは「他の要因がないか？」であるという出題とした。
- (C)
- (D)
- (E)

同一学生のスコアではないが、思考力の各測定項目の平均スコアは年次が上がるごとに上昇している傾向がうかがえ、レーダーチャートが広がっていく様子も確認できた。

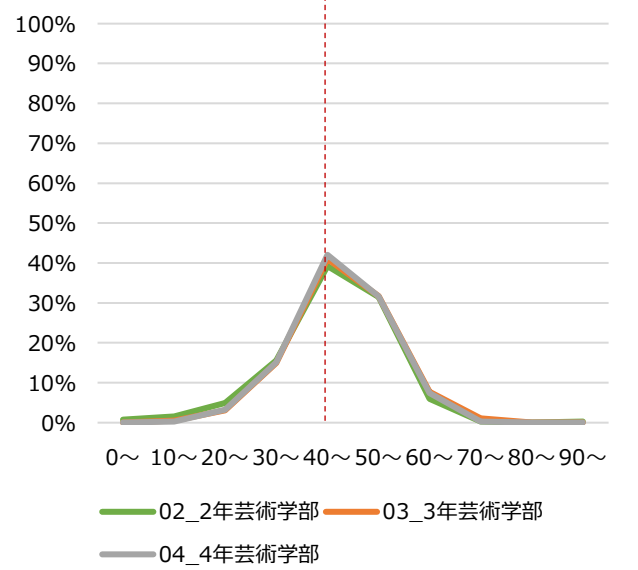
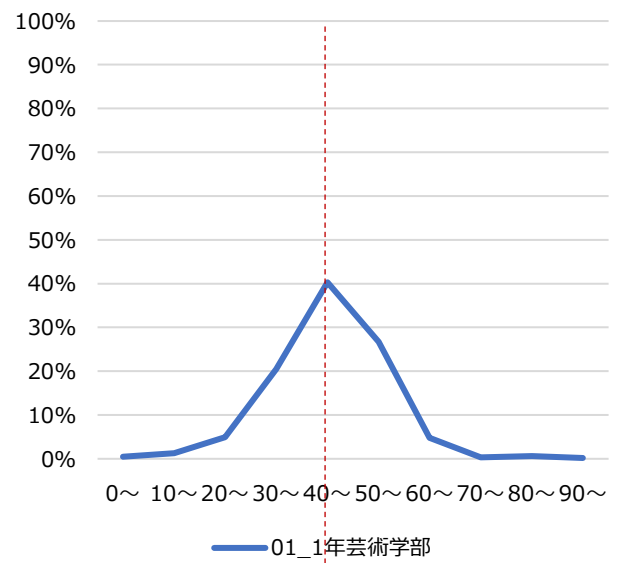
	思考力 総合	批判的 思考力 情報を抽出し 吟味する力	協働的 思考力 他者との共通点 違いを理解する力	創造的 思考力 情報を関連付け 類推する力
01_1年	45.5	44.3	48.2	44.5
02_2年	46.0	45.5	47.2	45.6
03_3年	47.8	47.4	49.8	47.0
04_4年	47.6	47.0	50.7	46.5

1～4年生：思考力総合スコア平均

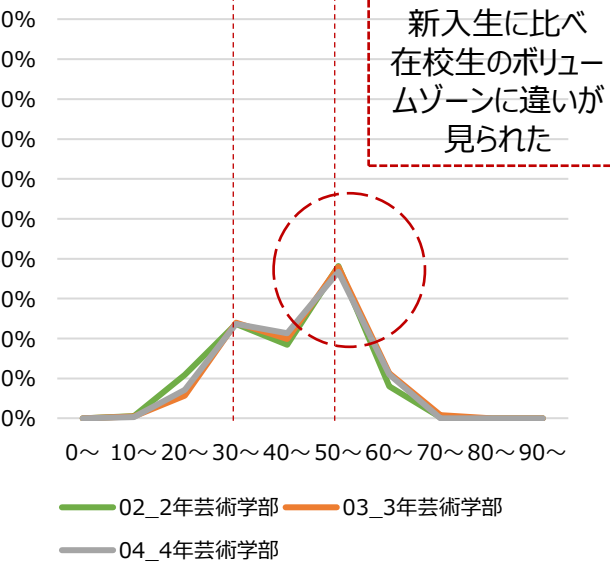
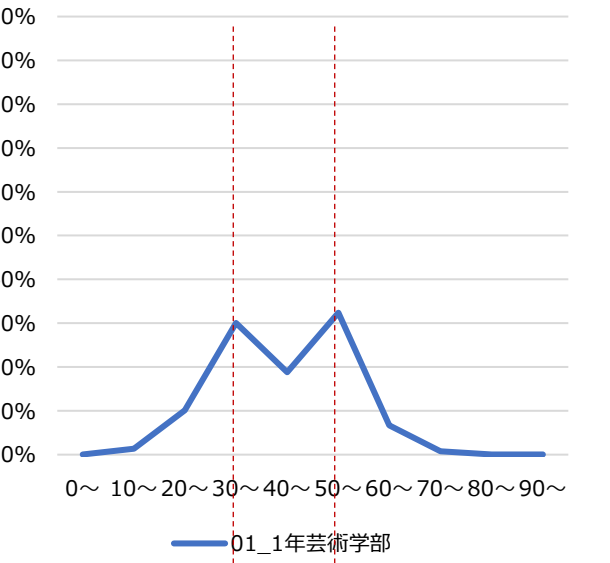


1～4年生：思考力度数分布

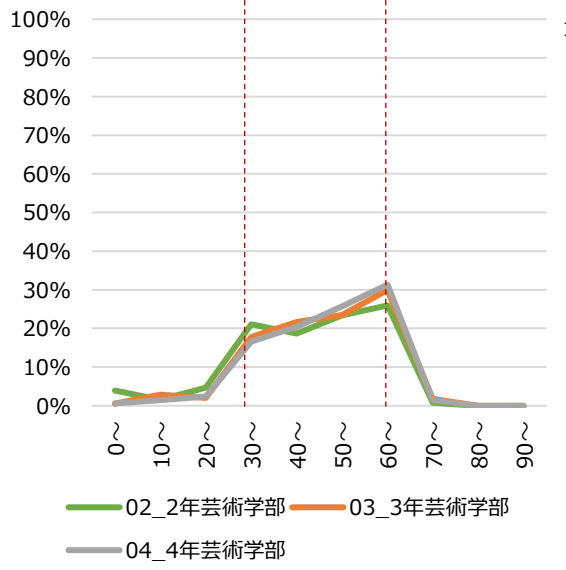
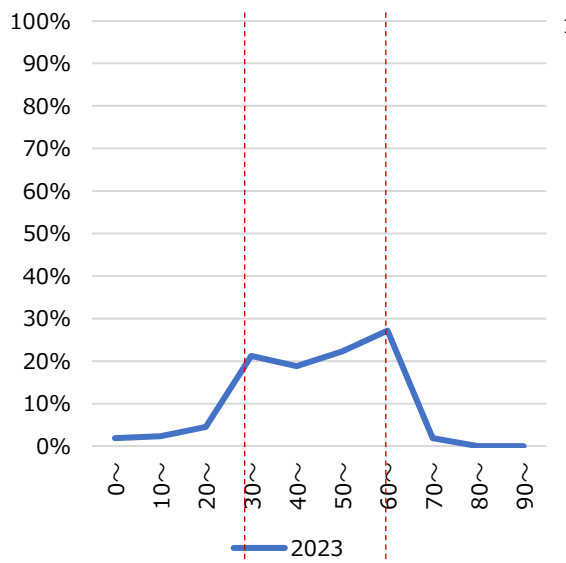
思考力総合



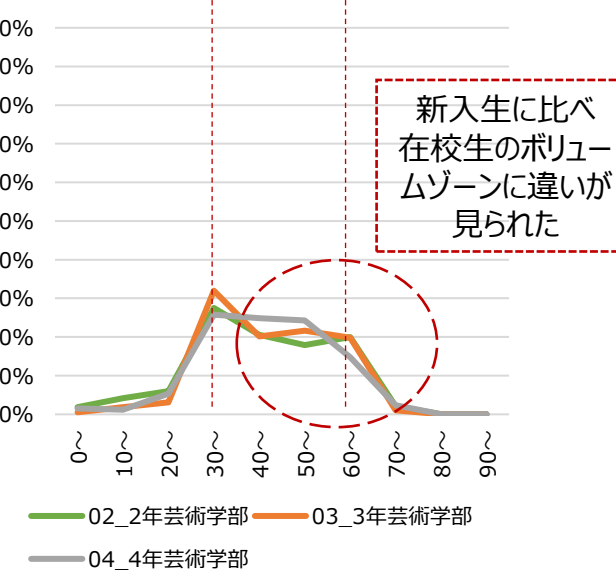
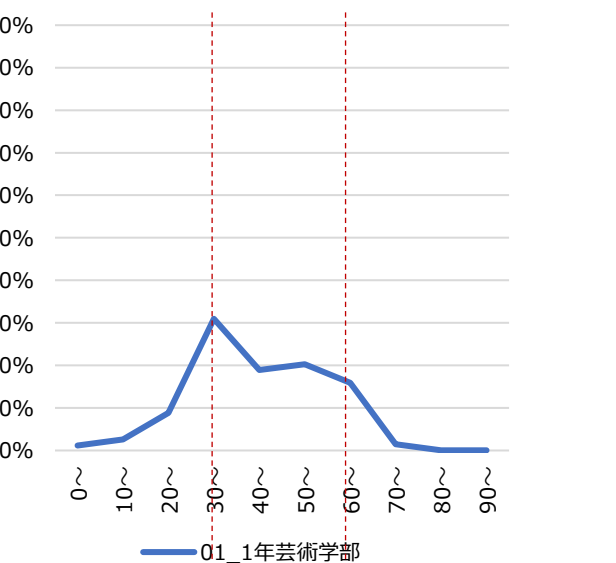
批判的思考力



協働的思考力

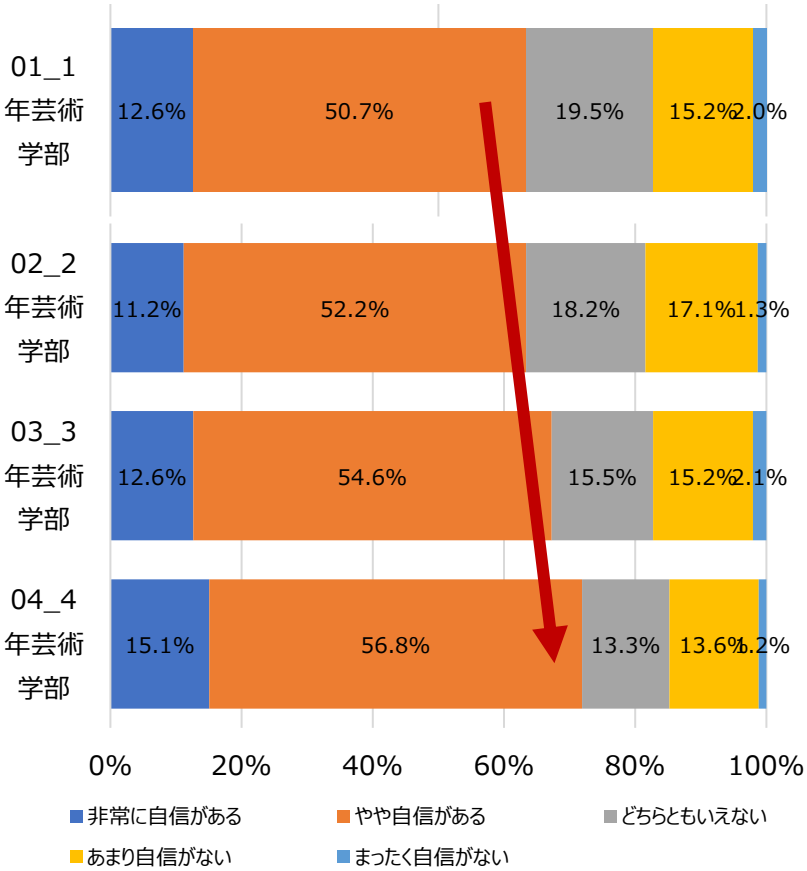


創造的思考力

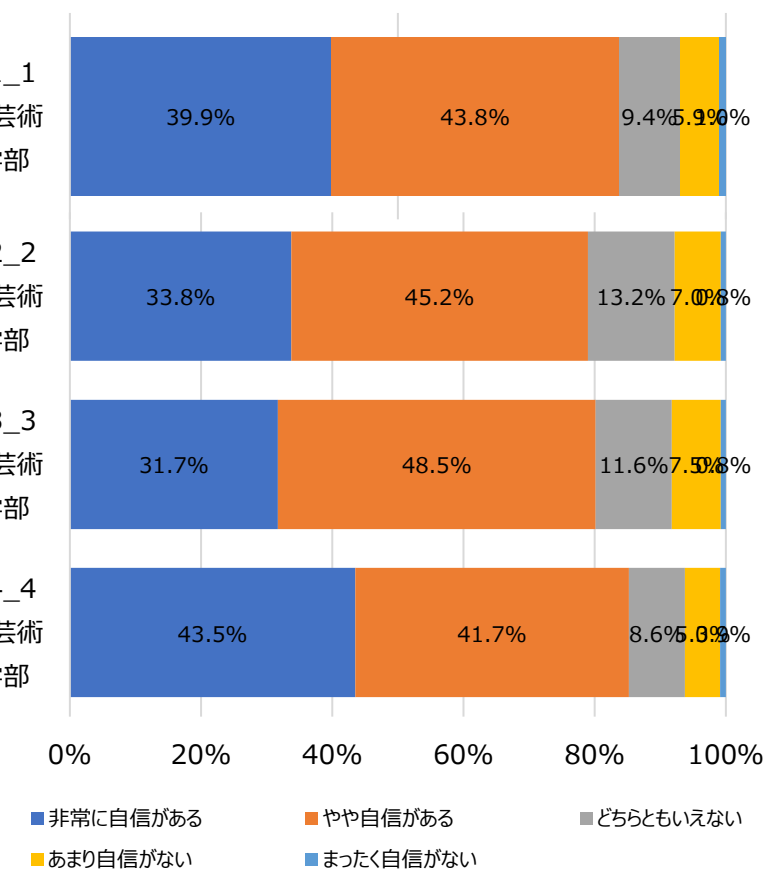


各思考力で測定している力が現在どのくらい身についているか学生に問う自己評価のアンケートでは、批判的思考力・創造的思考力への自己評価への肯定回答が年次が上がるごとに積みあがっている様子がうかがえた。

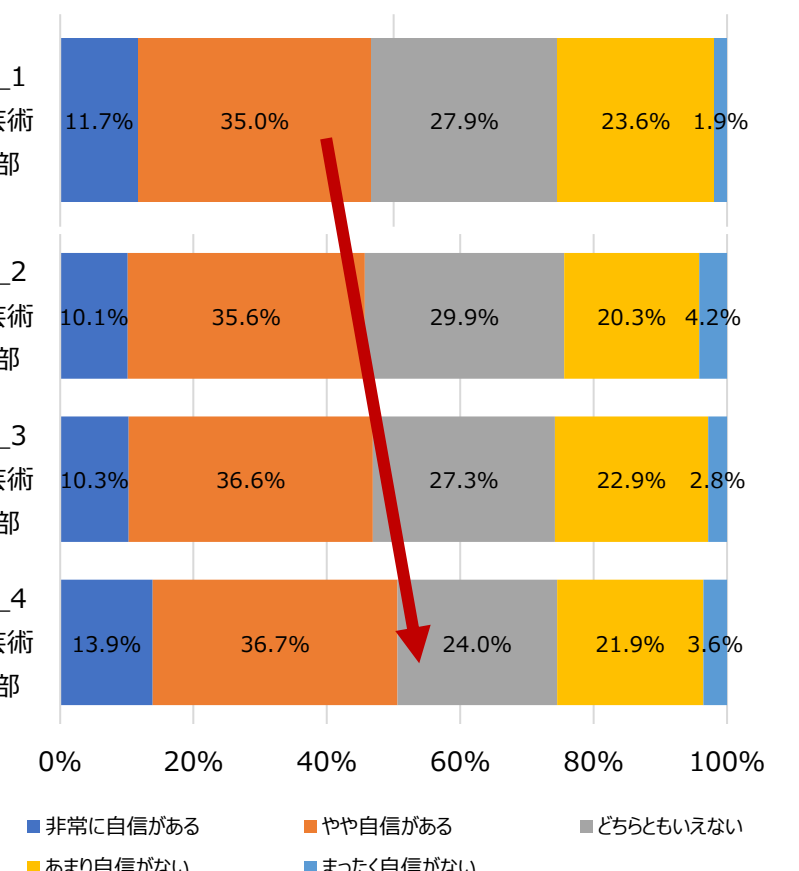
情報を抽出し吟味する力（批判的）

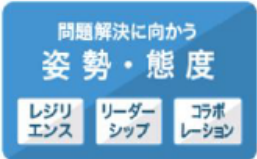


他者との共通点・違いを理解する力（協働的）



情報を関連づける力・類推する力（創造的）





経済社会で求められる人材要件を測定するために、
適性検査『CAREER VIEW』を再検証・再編集し、新たなテストとして開発。
問題解決に必要な姿勢・態度を8項目に厳選。各項目に対する傾向の強弱を測定。

測定項目	定義	小項目	代表的設問
レジリエンス	精神的な タフさ	感情の制御※ (ストレス耐性)	・(逆)成果を出す自信がなく、心配になることがある。 ・(逆)任せられると不安。
		立ち直りの早さ (回復力)	・いやなことがあっても忘れる。 ・立ち直りが早い。
		状況に応じ冷静に対応する (自己統制・柔軟性)	・突然の出来事でも注意深く考えて行動する。 ・状況に応じて対応できる。
リーダーシップ	物事に向かう 前向きさ	自ら先頭に立って進める (自主性・率先性)	・自分から提案をするほうだ。 ・自分から先に立って物事を始める。
		未知のものに挑戦する (チャレンジ精神・開放性)	・答えのない課題にもあえて挑む。 ・苦手な課題にもあえて挑戦する。
		粘り強くやり抜く (持続力・誠実さ・勤勉さ)	・苦しくてもやるべきことは最後までやりとおす。 ・設定した目標は達成したい。
コラボレーション	他者への 働きかけ	相手の立場に立とうとする (共感性)	・他人の立場を理解しようとする。 ・意見の違う人の言うことも聞こうとする。
		他者と関わろうとする積極性 (外向性・親和性)	・初対面でも打ち解けて話することができる。 ・(逆)たまにコミュニケーションが面倒と感じる。

◆強制選択式による出題例

問 以下のA～Cから、あなたに最もよく当てはまるものと、最も当てはまらないものをそれぞれ1つ選んでください。

- A. 自分から先に立って物事を始める。
- B. 目標は常に高いところに置く。
- C. 頭の切り替えが早い。

3つの設問から、必ず、「最もよく当てはまるもの」と「最も当てはまらないもの」を選択させるという形式。

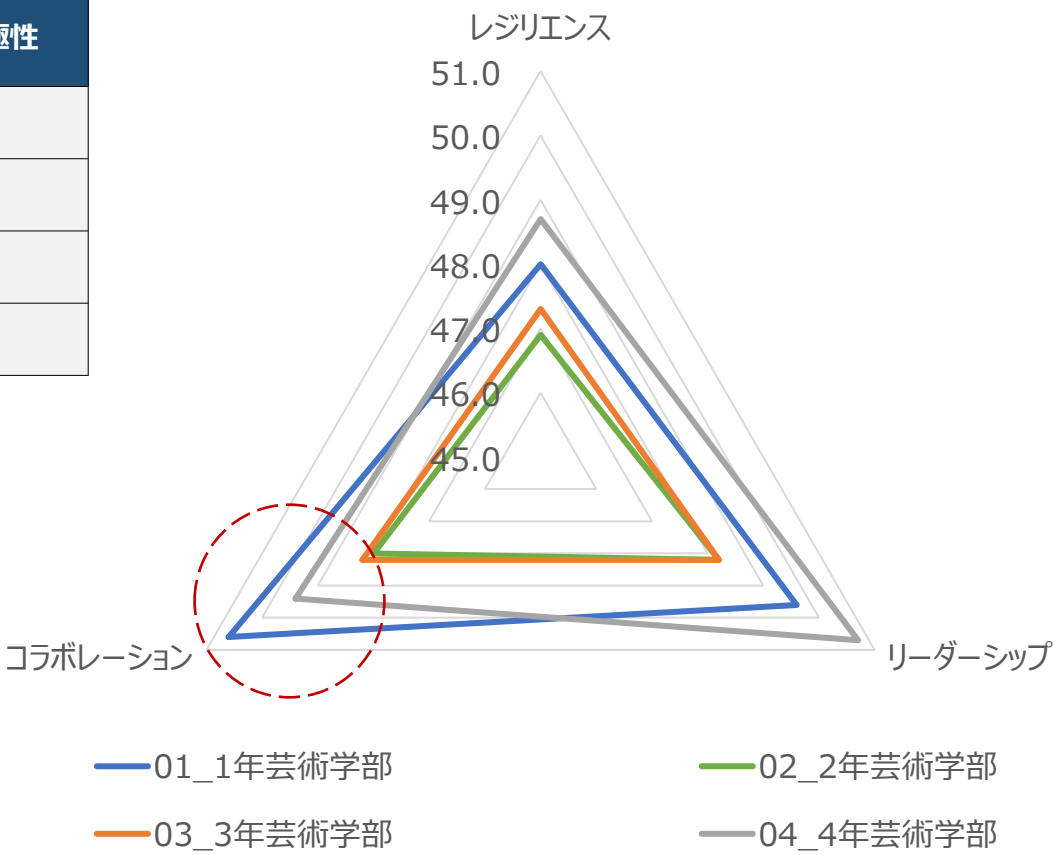
「自分を良く見せる回答」が行いにくくなるよう、強制選択式を取り入れております。

監修・協力：大正大学心理社会学部井関龍太先生
神戸大学大学院人間発達環境学研究科林創先生

・1・4年生に比べ、2・3年生の3項目の平均スコアが相対的に低くなっている。仮説として、入学後、学生の姿勢・意欲が下がるもしくは2極化してしまうなどの傾向が見られるかもしれない。
・また、在校生に比べ新入生**コラボレーション**のスコアが高く出ており、今年度1年生の特長と言えそうである。

	レジリエンス 感情の抑制 立ち直りの早さ 状況に応じ冷静に対応する姿勢	リーダーシップ ^o 自ら先頭に立って進める 未知の物に挑戦する姿勢 粘り強くやり抜く姿勢	コラボレーション 相手の立場に 立とうとする姿勢 他者と関わろうとする積極性
01_1年	48.0	49.6	50.6
02_2年	46.9	48.2	48.0
03_3年	47.3	48.2	48.2
04_4年	48.7	50.7	49.4

1～4年生： 姿勢態度スコア平均



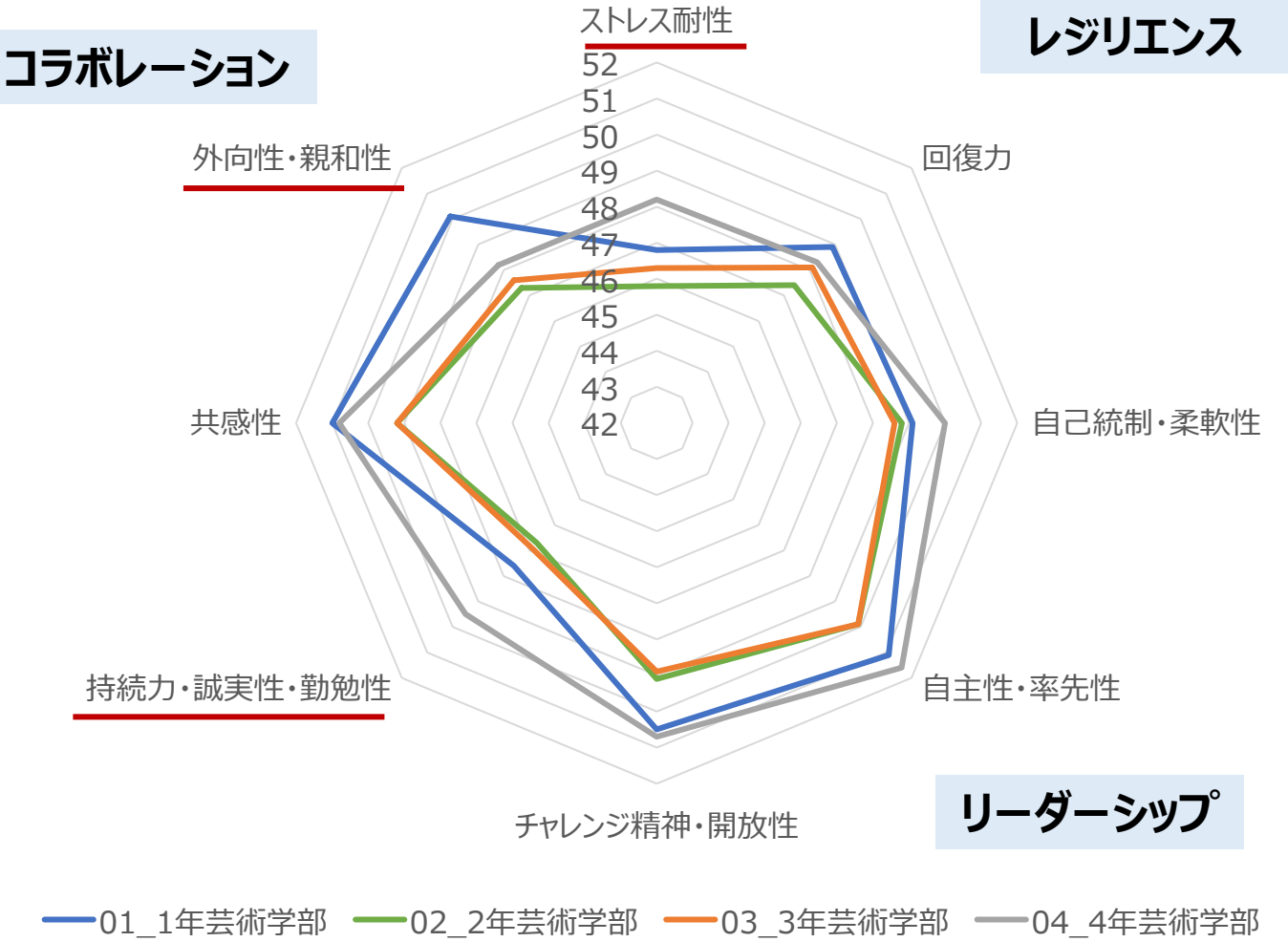
1～4年生：姿勢・態度 詳細項目 スコア

レジリエンス			
学部名	ストレス耐性	回復力	自己統制・柔軟性
01_1年	46.8	48.9	49.1
02_2年	45.8	47.4	48.8
03_3年	46.3	48.1	48.6
04_4年	48.2	48.3	50.0

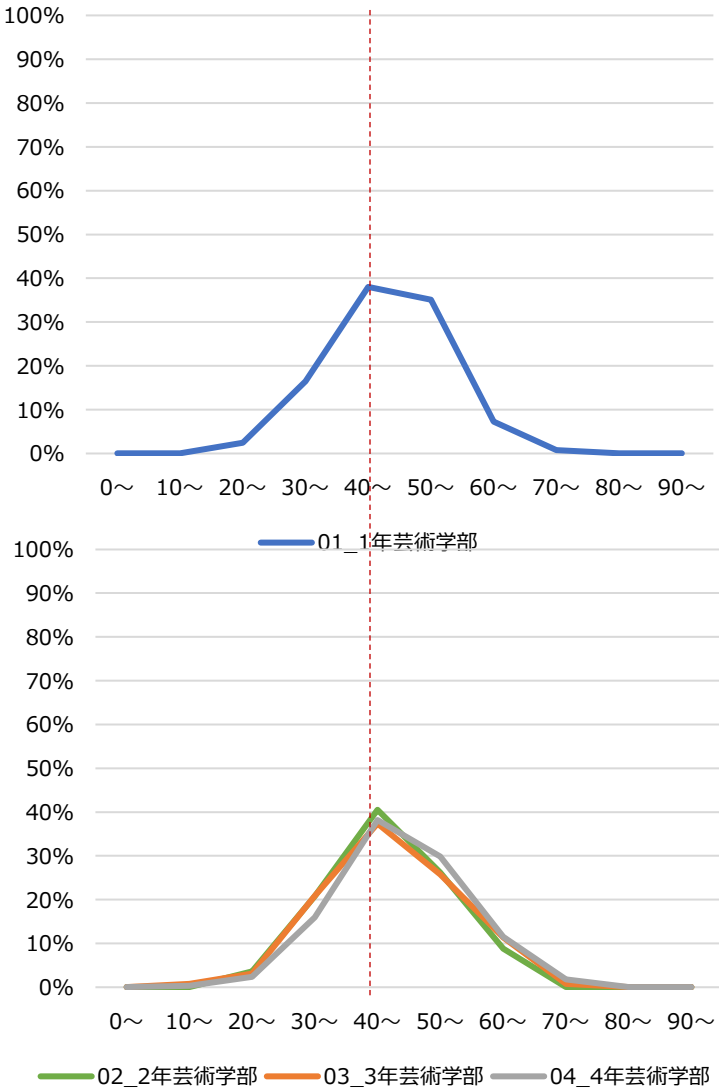
リーダーシップ			
学部名	自主性・率先性	チャレンジ精神・開放性	持続力・誠実性・勤勉性
01_1年	51.1	50.5	47.6
02_2年	49.9	49.1	46.7
03_3年	49.9	48.9	46.9
04_4年	51.6	50.7	49.5

コラボレーション		
学部名	共感性	外向性・親和性
01_1年	51.0	50.1
02_2年	49.2	47.3
03_3年	49.2	47.6
04_4年	50.8	48.2

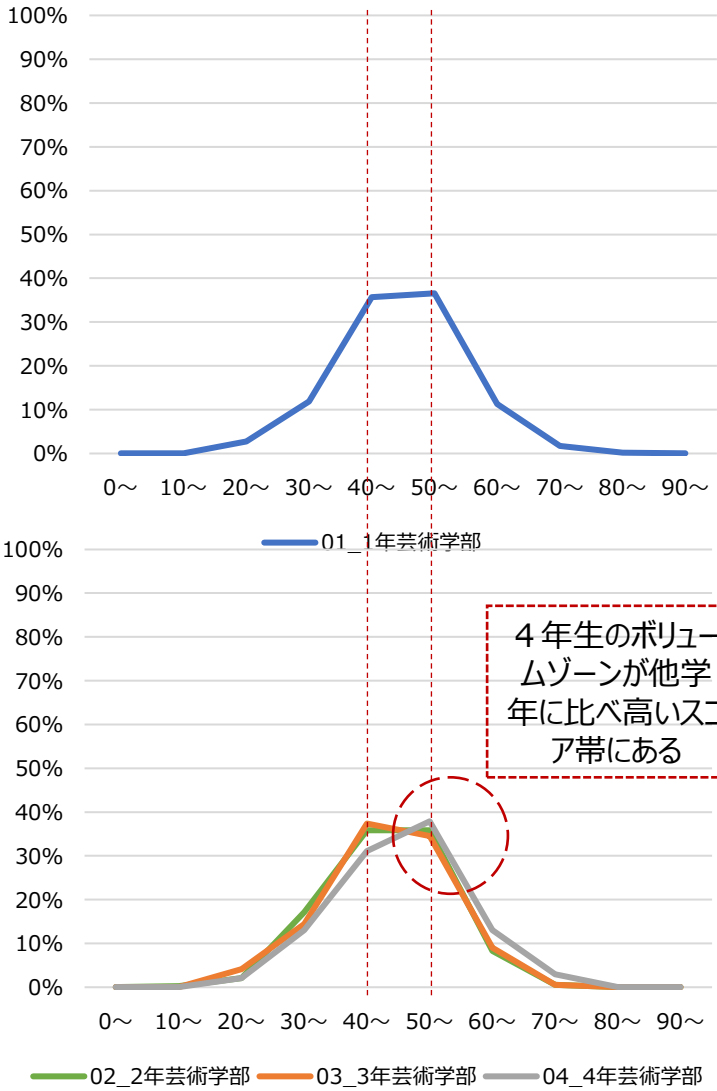
1～4年生：姿勢態度 詳細項目スコア平均



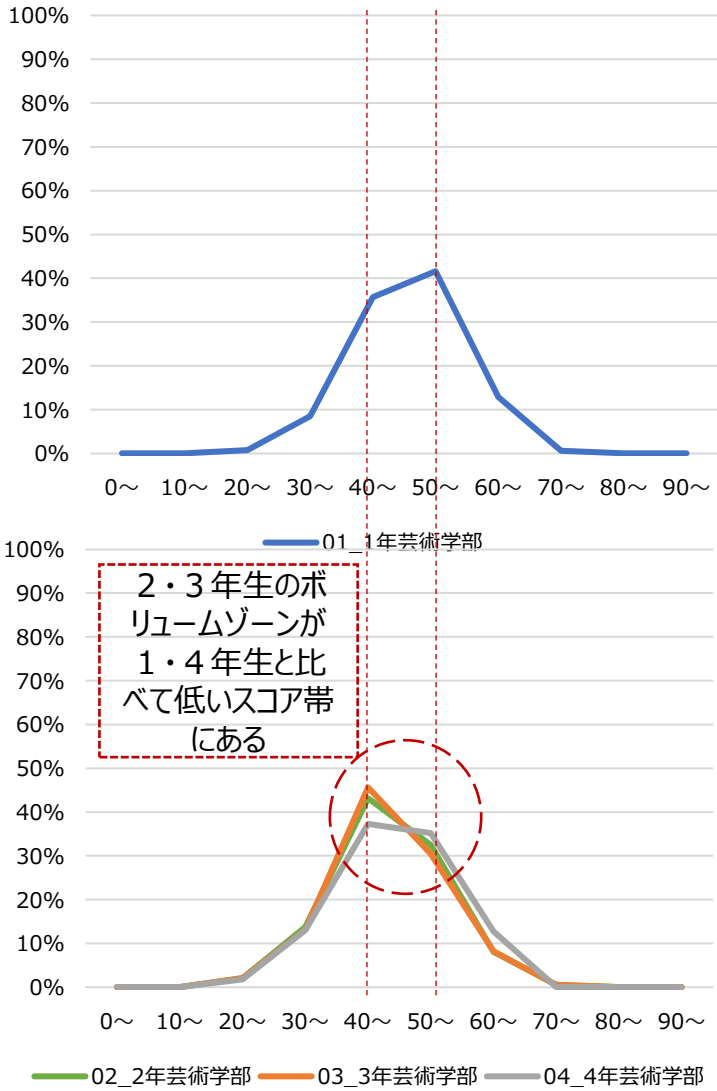
レジリエンス



リーダーシップ



コラボレーション





「思考力」「姿勢・態度」の背景として、どのような経験を積み、行動してきたかを、受検者自身で振り返るアンケートです。

◆各項目の定義

	定義	小項目
自己管理	目標を掲げ、ストレスにも適切に対処しながら、達成に向けて粘り強く行動した経験	挑戦する経験
		続ける経験
		ストレスに対処する経験
対人関係	異なる意見や価値観、行動様式の違いを受け入れ、他者との合意を形成しようとした経験	多様性を受容する経験
		関係性を築く経験
		議論する経験
計画・実行	課題解決に必要なプロセス、PDCAを適切に運用した経験	課題を設定する経験
		解決策を立案する経験
		実行・検証する経験

◆出題形式

45の質問項目について、自己評価を回答。

◆評価算出方法

到達度5を大学卒業時の目標とし、
回答状況に応じて各経験について5段階で評価。
※達成率 = (尺度得点 / 満点) × 100

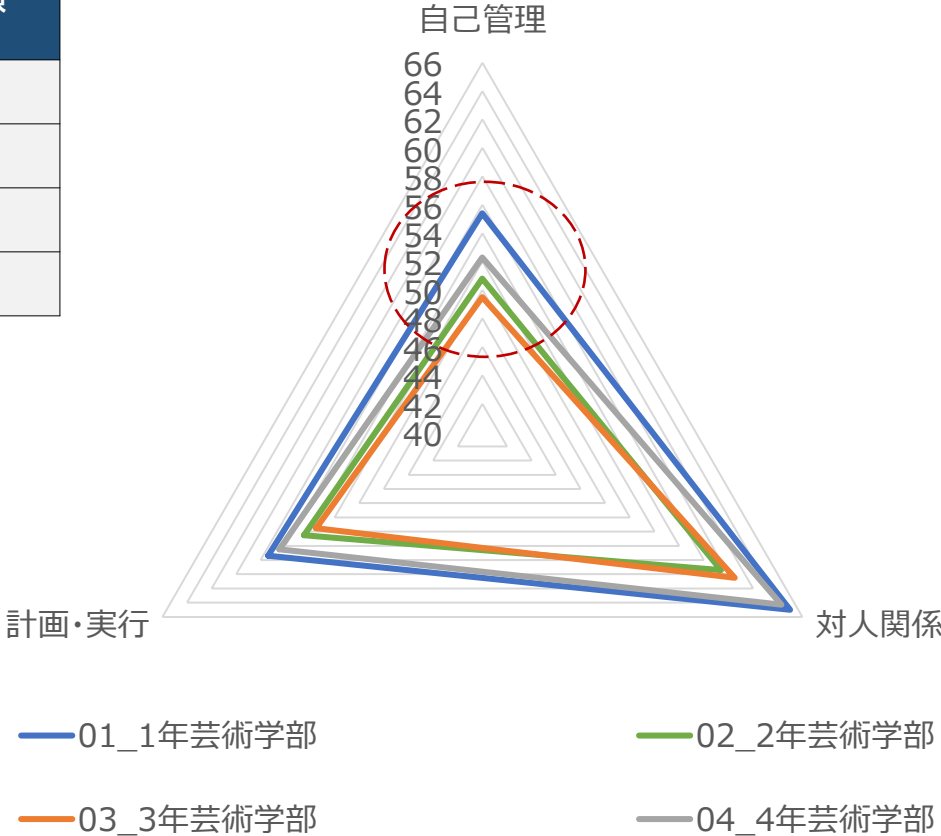
◆項目設定における予備調査

- ・大学生向け実査
(1～4年生・進研ゼミや進研模試添削者 2012年5～8月)
- ・企業人の大学新卒者採用・育成に関する意識調査
(2012年5～8月)
- ・正課・課外授業の実践からの仮説立案
(年間7500コマ)

・新入生に比べ、在校生のスコアが低く出ているのうかがえる。
これは全国の連続データにも同様の傾向が見られ、学生が課外活動などを通じて、自身の経験を相対的に見ることによって自己評価を調整（時に過小評価）する傾向が見られるのかもしれない。

	経験総合	自己管理 挑戦する経験 続ける経験 ストレスに対処する経験	対人関係 多様性を受容する経験 関係性を築く経験 議論する経験	計画・実行 課題を設定する経験 解決策を立案する経験 実行・検証する経験
01_1年	59.3	55.4	65.0	57.4
02_2年	54.9	50.8	59.4	54.5
03_3年	54.5	49.5	60.5	53.5
04_4年	57.7	52.3	64.3	56.5

1～4年生：経験総合スコア平均



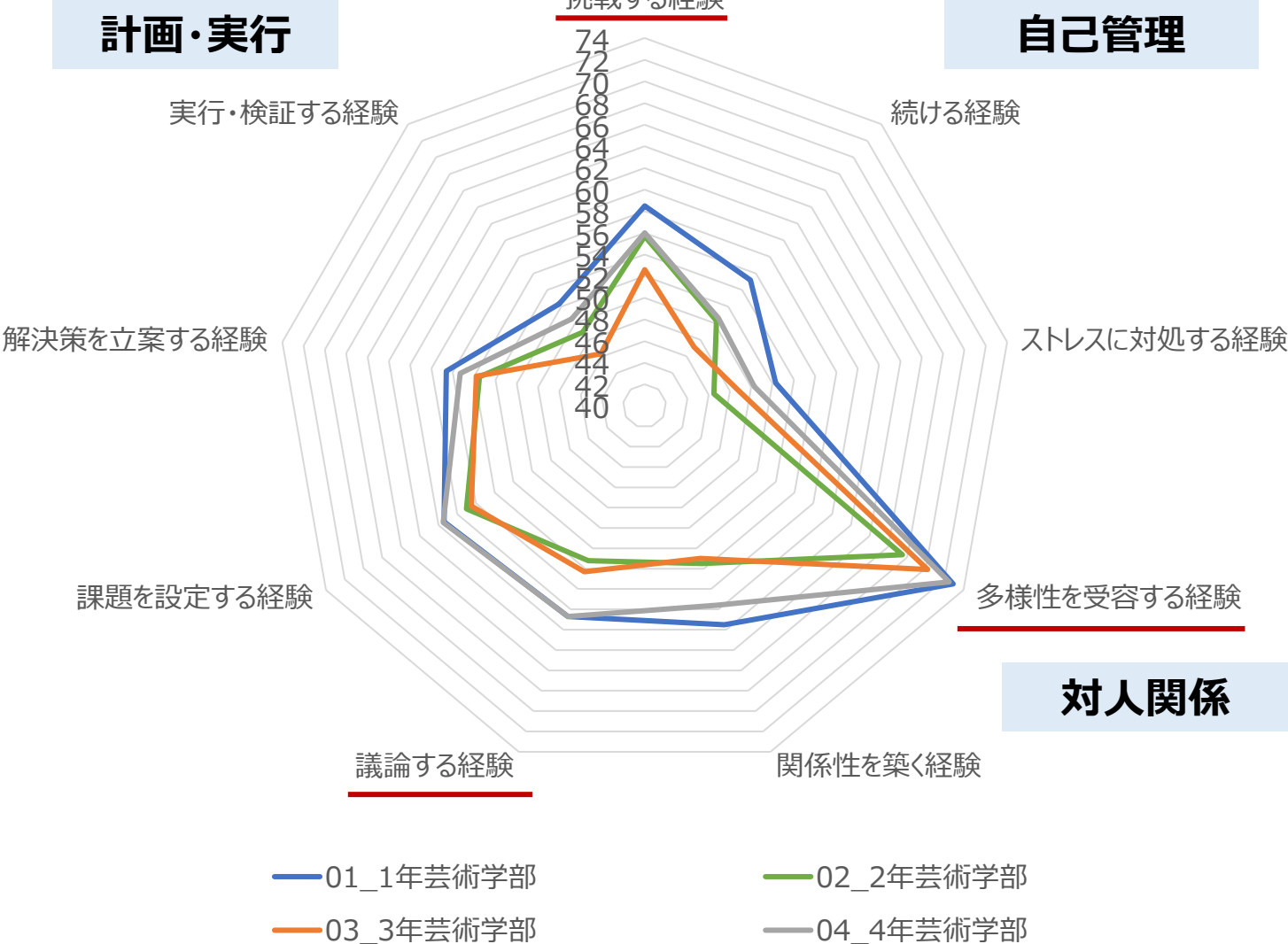
1～4年生：経験 詳細項目 スコア

自己管理			
学部名	挑戦する経験	続ける経験	ストレスに対処する経験
01_1年	58.5	55.2	52.3
02_2年	55.7	50.3	46.5
03_3年	52.6	47.1	48.7
04_4年	56.0	50.6	50.3

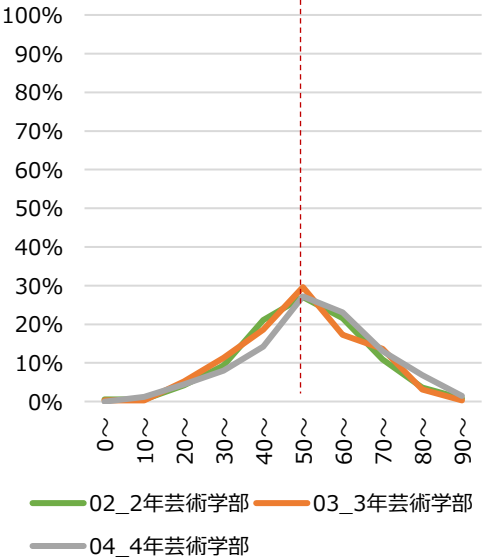
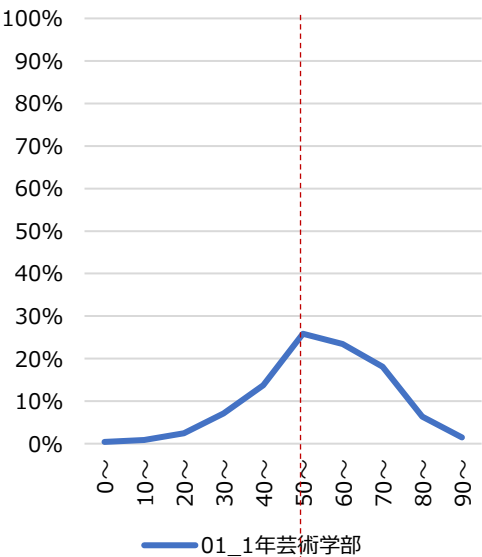
対人関係			
学部名	多様性を受容する経験	関係性を築く経験	議論する経験
01_1年	72.9	61.5	60.7
02_2年	67.5	55.5	55.2
03_3年	70.2	55.0	56.3
04_4年	72.5	59.6	60.7

計画・実行			
学部名	課題を設定する経験	解決策を立案する経験	実行・検証する経験
01_1年	61.4	58.6	52.3
02_2年	59.0	55.5	48.9
03_3年	58.5	55.8	46.3
04_4年	61.5	57.3	50.5

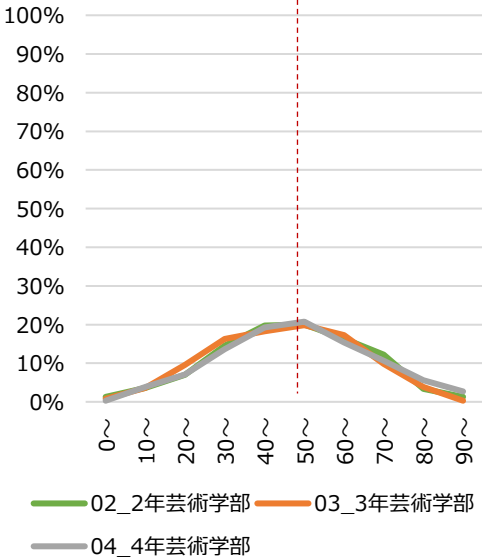
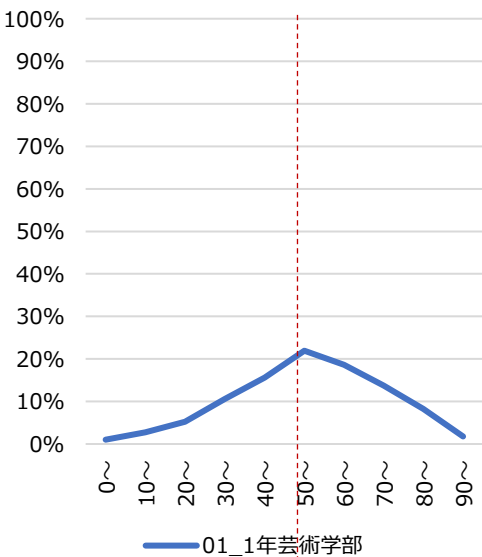
1～4年生：経験 詳細項目スコア平均



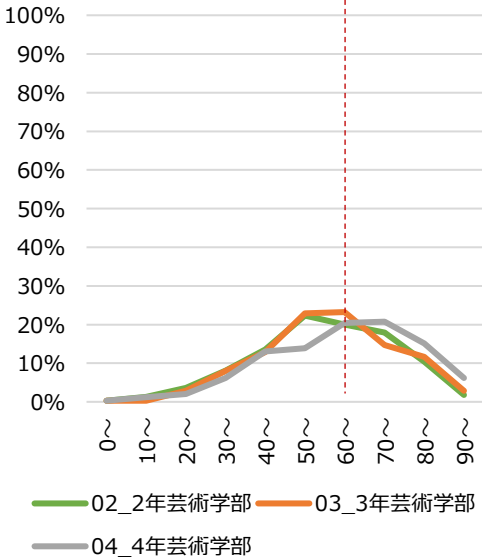
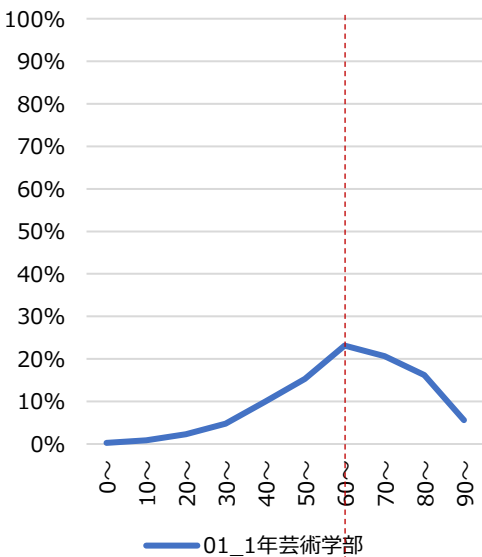
経験総合



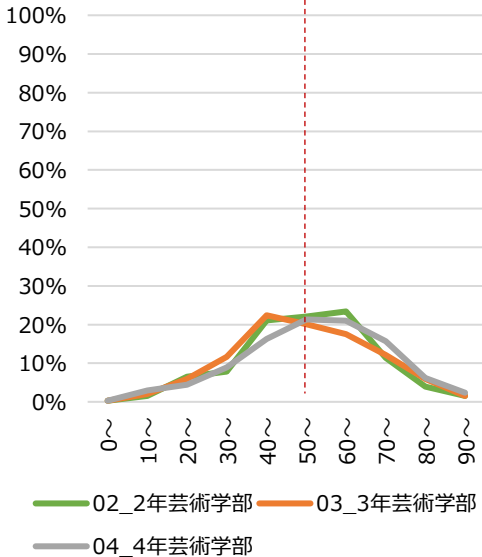
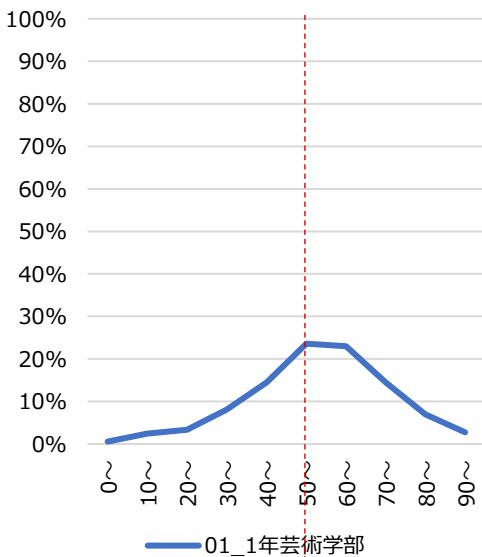
自己管理



対人関係



計画・実行

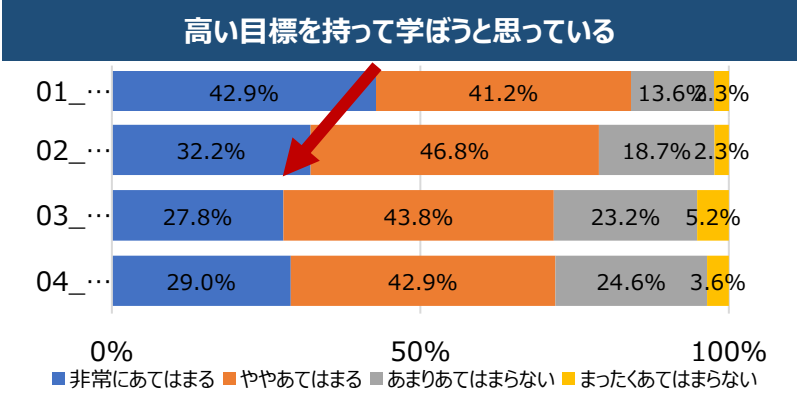
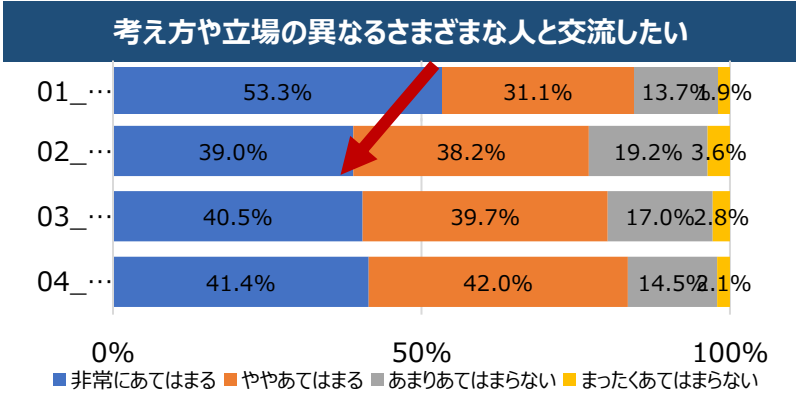
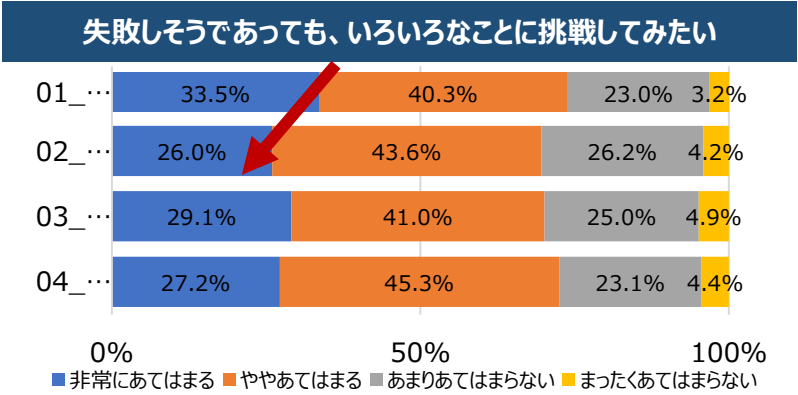
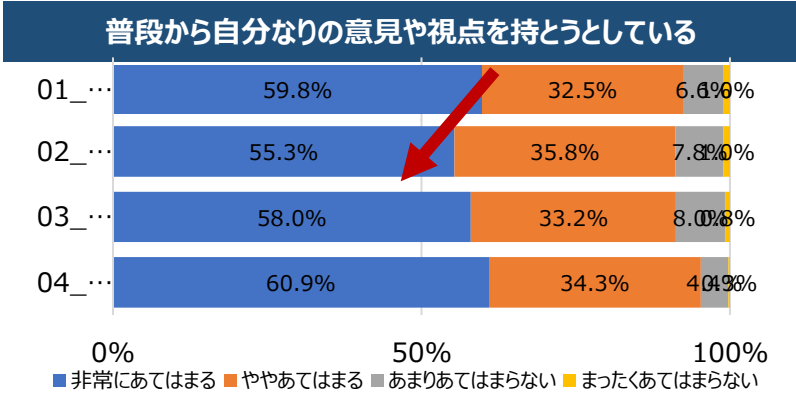
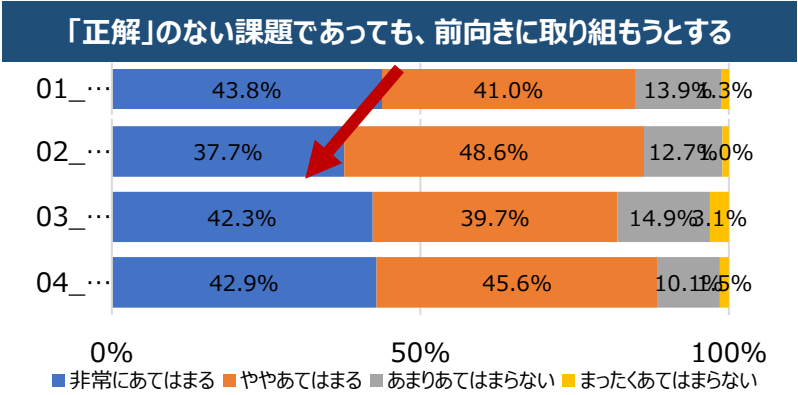


学部名	学びへの意欲
01_1年芸術学部	76.2
02_2年芸術学部	72.1
03_3年芸術学部	71.7
04_4年芸術学部	73.4

GPS-Academicでは、学びへの向き合い方に関する学生へのアンケート回答（主観評価）をスコア化して【学びへの意欲】という項目を設けている。

貴学においては、全ての対象のアンケート項目に関して、肯定回答が7割を超えている点を確認できる。

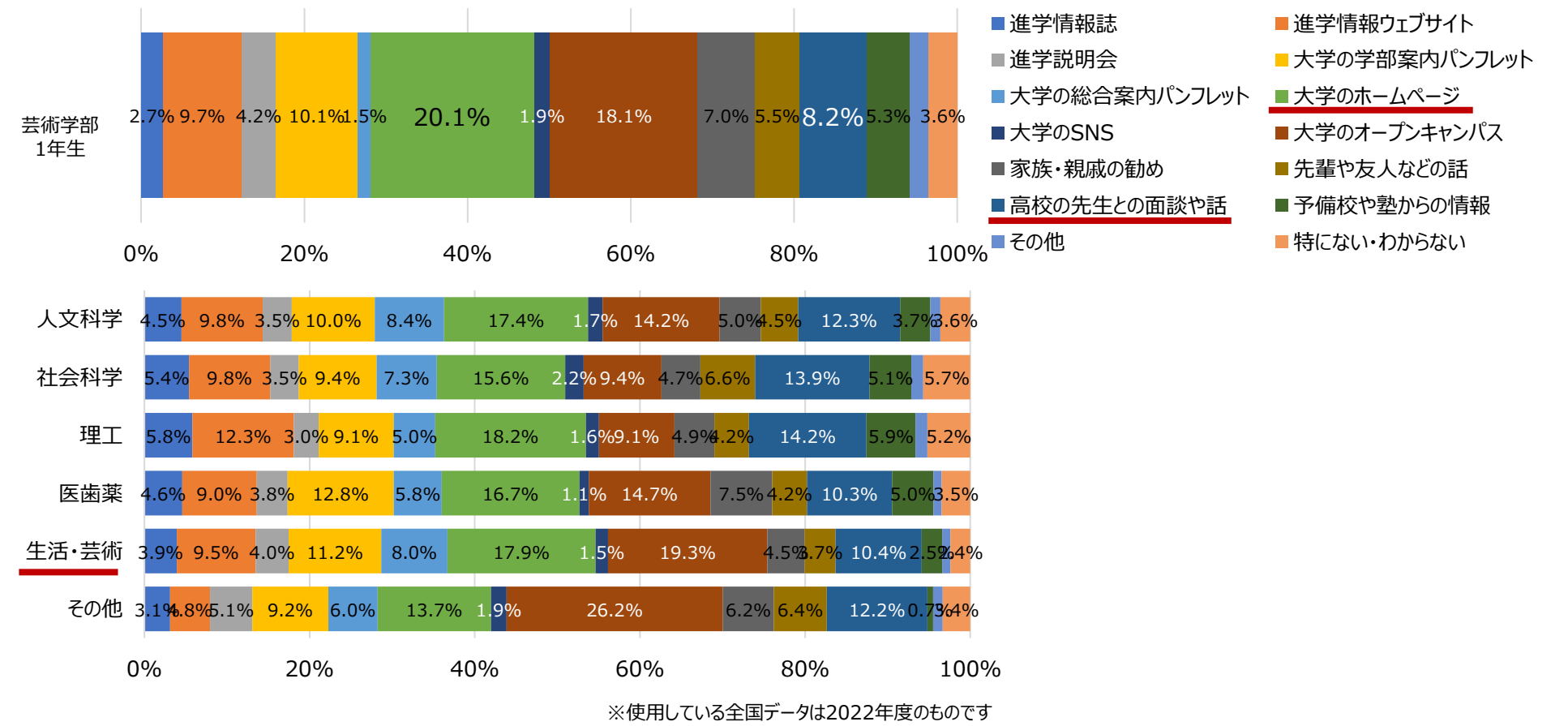
一方で、全ての対象のアンケート項目において、【非常に当てはまる】の回答割合が最も高いのが1年生で、その後その割合が減少しているのが確認できた。





・全国の割合と比べ、【大学のホームページ】を「大学選択に役立った情報源」として挙げる学生の割合が高い。
・一方、【高校の先生との面談や話】の割合は全国と比較して相対的に割合が低い結果となった。

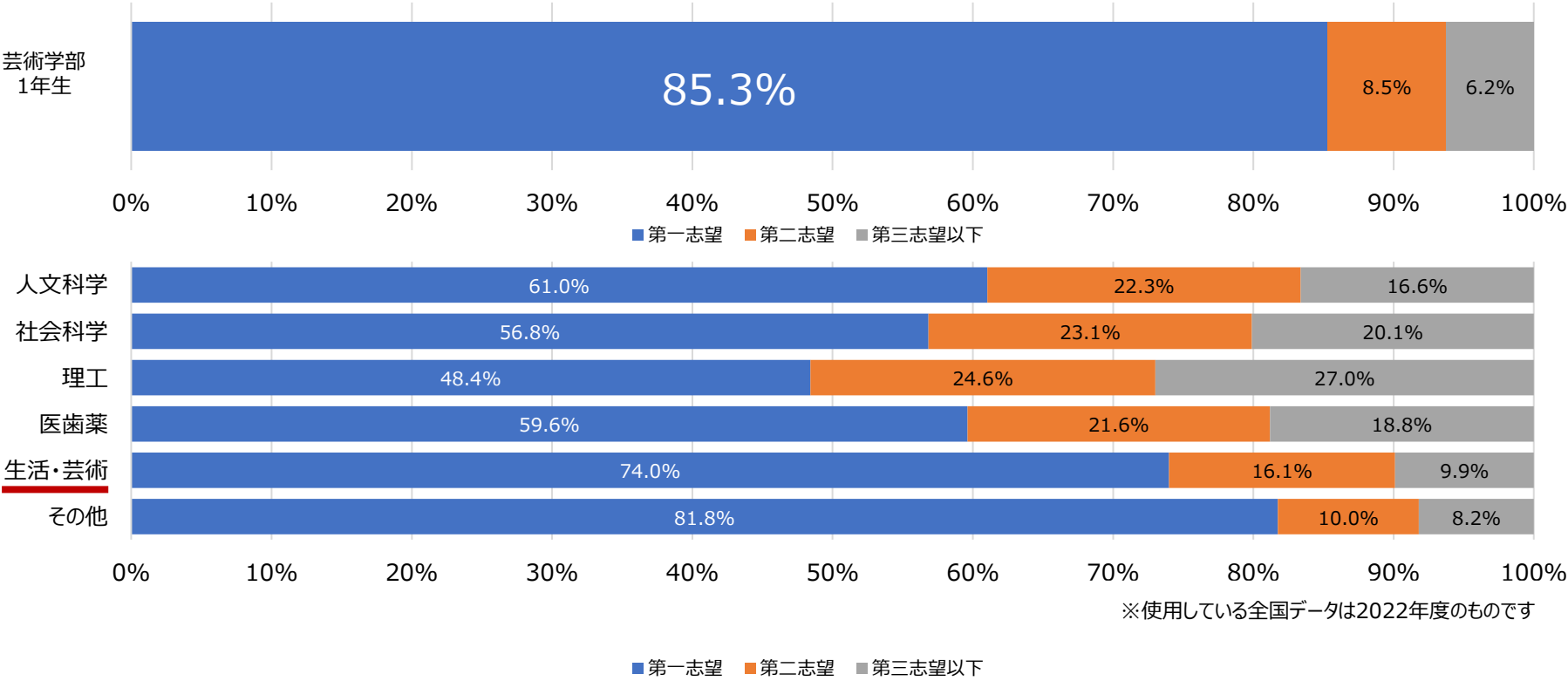
【1年生】大学選択に役立った情報源



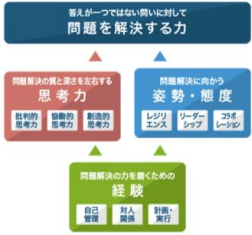


大学志望度は全国・学問系統別に見ても【第一志望】の割合が高いことが確認できる。

【1年生】大学志望度



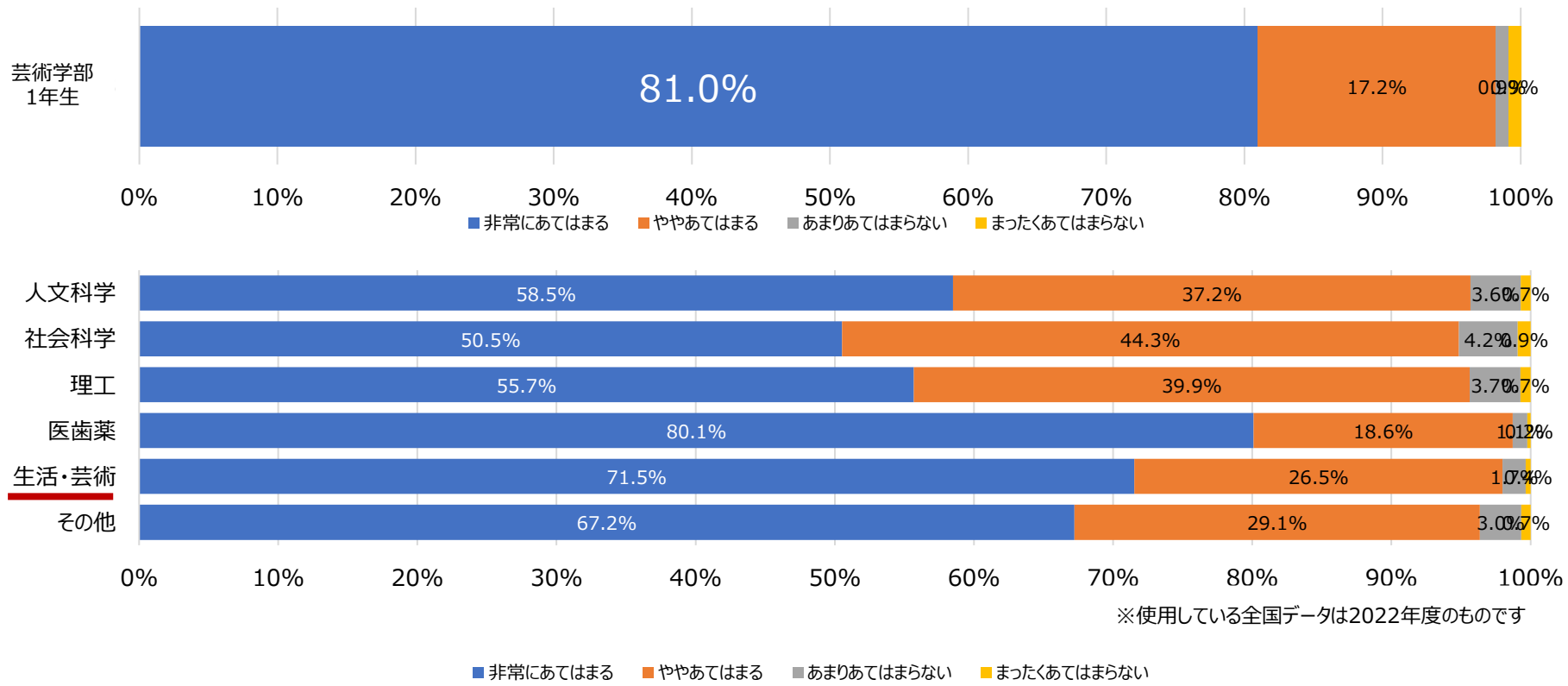
■ 学生意識調査	大学の魅力
新入生版	大学選択に役立った情報源
設問一覧	AP/CP/DP理解度
	履修選択の考え方（楽単vs興味優先…）
	力を入れたいこと
	読書量/自習時間
	学びへの取組（予習・復習…）
	専門ゼミ/研究室への所属状況
	力を入れたいこと
	身に付けたい英語のレベル/留学経験/留学意向
	大学志望度/学部・学科志望度/大学納得度
	興味関心の一致度
	学生生活への不安
	再受験・退学の検討
	居住形態/通学時間
	卒業後の進路/進路への準備状況
	独自設問



学生意識調査

実に80%以上の学生が「大学で将来に必要な学びを得ることができる」という問いに対して【非常にあてはまる】と回答しており、これは全国の生活・芸術学系統の回答よりも高いことが分かっている。学生の大学に対する期待値の高さが現れているといえる。

【1年生】あなたが通う大学で、自分の将来に必要な学びを得ることができると思う



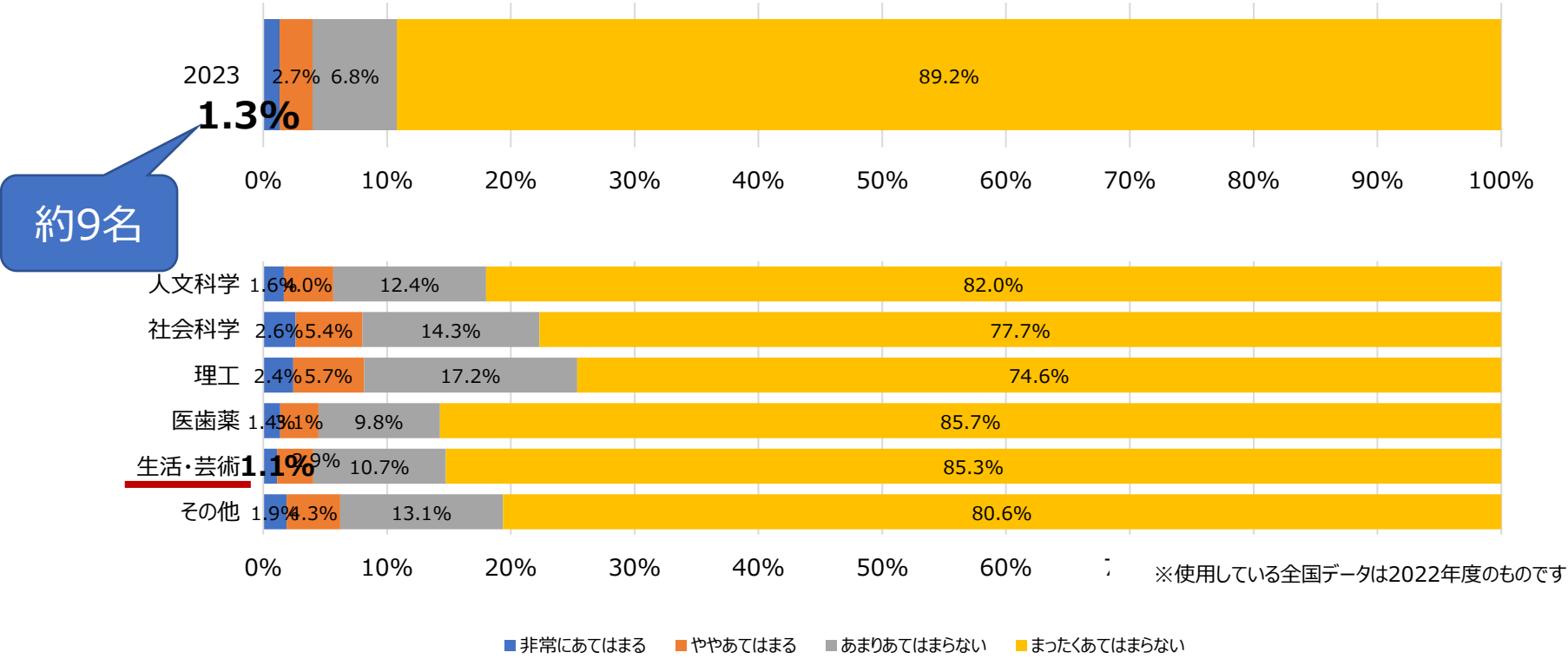
大学の魅力
大学選択に役立った情報源
AP/CP/DP理解度
履修選択の考え方（楽単vs興味優先…）
力を入れたいこと
読書量/自習時間
学びへの取組（予習・復習…）
専門ゼミ/研究室への所属状況
力を入れたいこと
身に付けたい英語のレベル/留学経験/留学意向
大学志望度/学部・学科志望度/大学納得度
興味関心の一致度
学生生活への不安
再受験・退学の検討
居住形態/通学時間
卒業後の進路/進路への準備状況
独自設問



再受験・退学の検討に対して【非常に当てはまる】と回答している割合は、全国と同水準といってよい。

■ 学生意識調査 新入生版 設問一覧	大学の魅力
	大学選択に役立った情報源
	AP/CP/DP理解度
	履修選択の考え方（楽単vs興味優先…）
	力を入れたいこと
	読書量/自習時間
	学びへの取組（予習・復習…）
	専門ゼミ/研究室への所属状況
	力を入れたいこと
	身に付けたい英語のレベル/留学経験/留学意向
	大学志望度/学部・学科志望度/大学納得度
	興味関心の一致度
	学生生活への不安
	再受験・退学の検討
	居住形態/通学時間
	卒業後の進路/進路への準備状況
	独自設問

他大学の再受験や退学を検討している



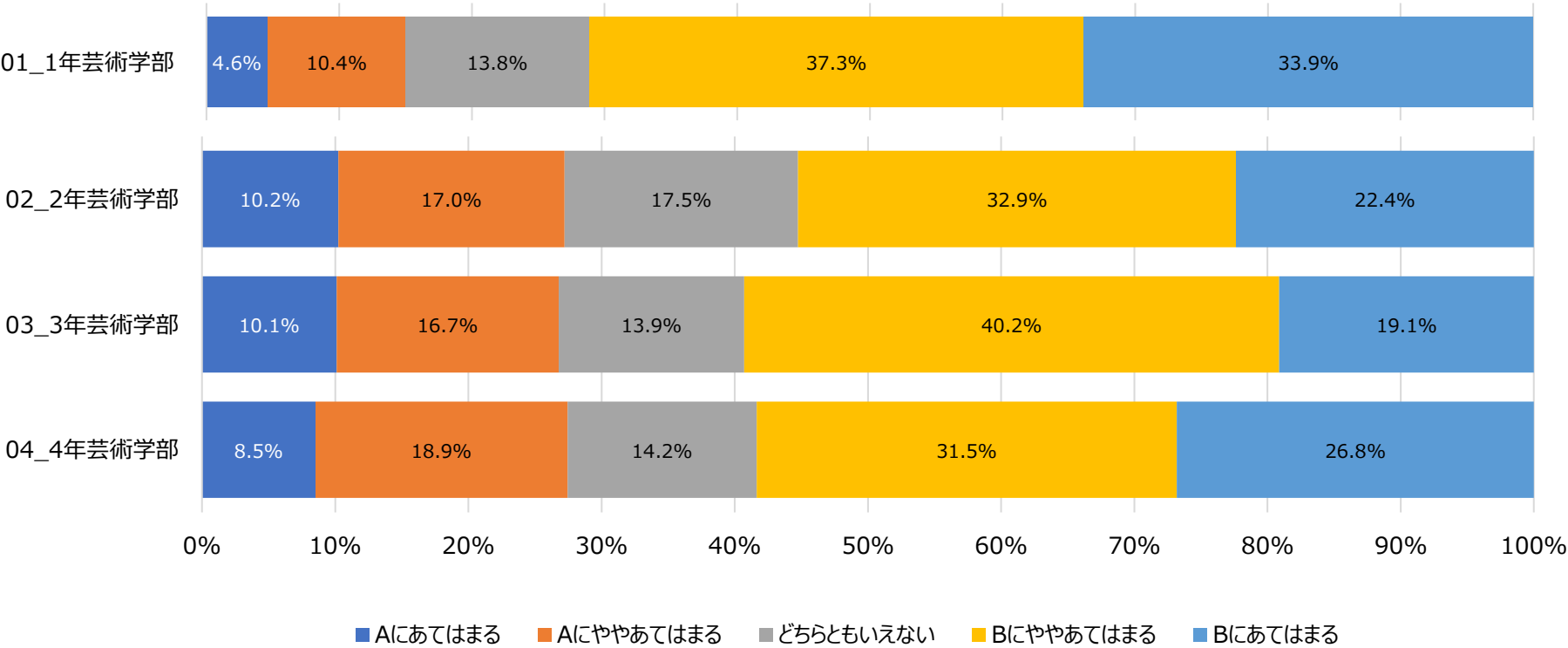


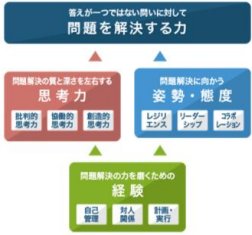
学生意識調査

■ 学生意識調査	大学の魅力
新入生版	大学選択に役立った情報源
設問一覧	AP/CP/DP理解度
	履修選択の考え方（楽単vs興味優先…）
	力を入れたいこと
	読書量/自習時間
	学びへの取組（予習・復習…）
	専門ゼミ/研究室への所属状況
	力を入れたいこと
	身に付けたい英語のレベル/留学経験/留学意向
	大学志望度/学部・学科志望度/大学納得度
	興味関心の一致度
	学生生活への不安
	再受験・退学の検討
	居住形態/通学時間
	卒業後の進路/進路への準備状況
	独自設問

【あまり興味がなくとも、単位を楽に取れる授業がよい】と回答する、いわゆる「楽単志向性」の割合は、2年次以降上昇することが仮説として立てられる。

A. あまり興味がなくとも、単位を楽に取れる授業がよい
B. 単位を取るのが難しくても、自分の興味のある授業がよい

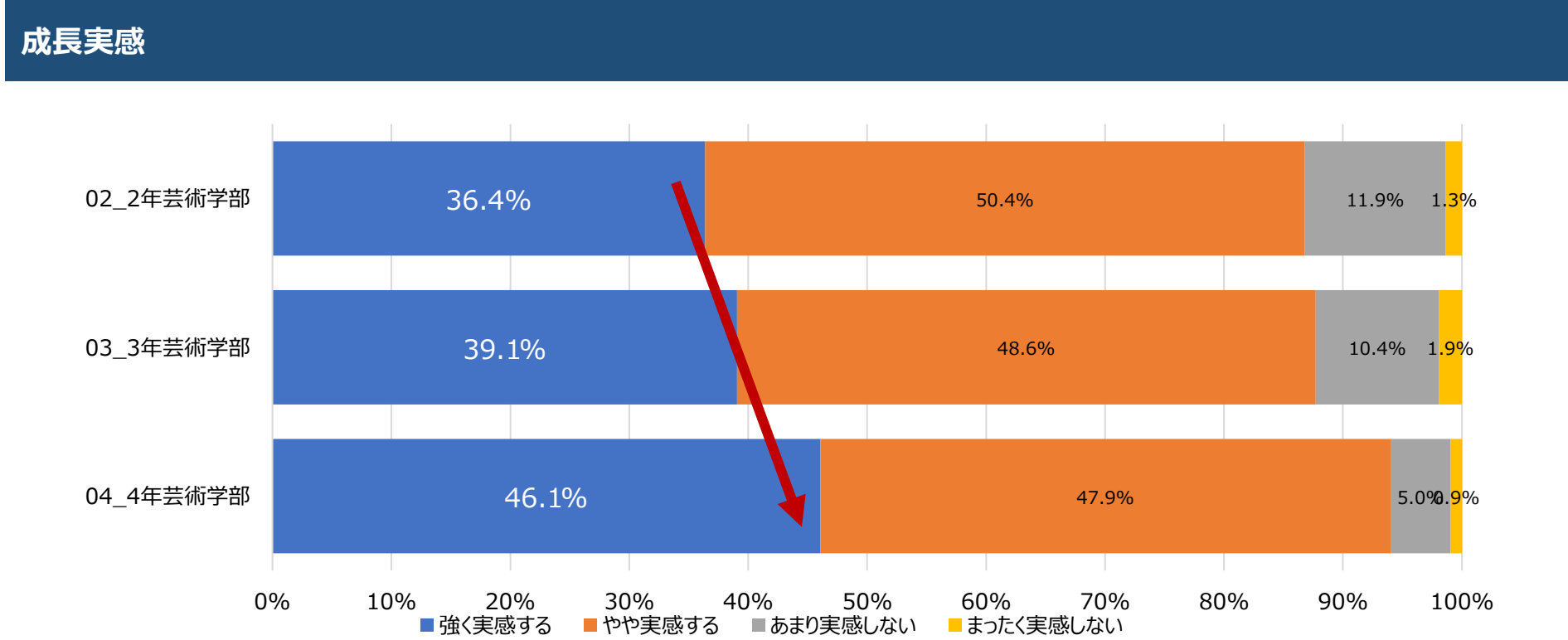




学生意識調査

年次が上がるごとに成長を【強く実感する】と回答する割合が増加している様子がうかがえる。
肯定回答した学生へはその【背景】を、消極回答した学生へは自身が学生生活で経験した取り組みの【言語化】の支援が重要と言える。

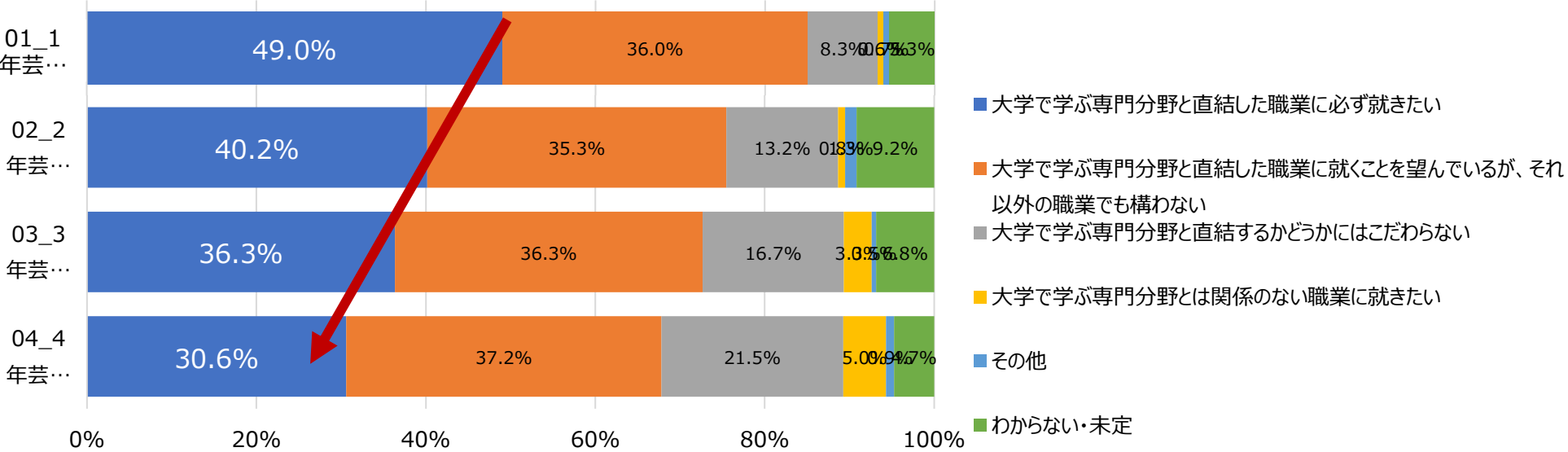
■ 学生意識調査 在校生版 設問一覧	学びへの意欲
	大学の魅力
	CP/DP理解度
	履修選択の考え方（楽単vs興味優先）
	入学後のイメージ変化/成長実感/おすすめ度
	大学教育の満足度（カリキュラム/授業内容…）
	教育施設の利用度（図書館…）
	授業の役立ち度（問題解決力…）
	カリキュラム評価（授業レベル高vs低…）
	力を入れたこと
	読書量/自習時間
	学びへの取組（予習・復習…）
	身に付けたい英語のレベル/留学経験/留学意向
	大学納得度
	興味関心の一致度
	再受験・退学の検討
	適応状況（友人/教員/校風・雰囲気）
	困っていること
	居住形態
	卒業後の進路、進路への準備状況
	独自設問



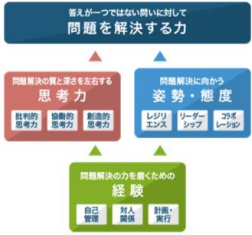


年次が上がるごとに【専門領域と希望進路との関係】を問う設問への「専門分野と直結した職業」へこだわる割合が減少傾向にある点が見える。

専門領域と希望進路との関係



■ 学生意識調査	大学の魅力
新入生版	大学選択に役立った情報源
設問一覧	AP/CP/DP理解度
	履修選択の考え方（楽単vs興味優先…）
	力を入れたいこと
	読書量/自習時間
	学びへの取組（予習・復習…）
	専門ゼミ/研究室への所属状況
	力を入れたいこと
	身に付けたい英語のレベル/留学経験/留学意向
	大学志望度/学部・学科志望度/大学納得度
	興味関心の一致度
	学生生活への不安
	再受験・退学の検討
	居住形態/通学時間
	卒業後の進路/進路への準備状況
	独自設問

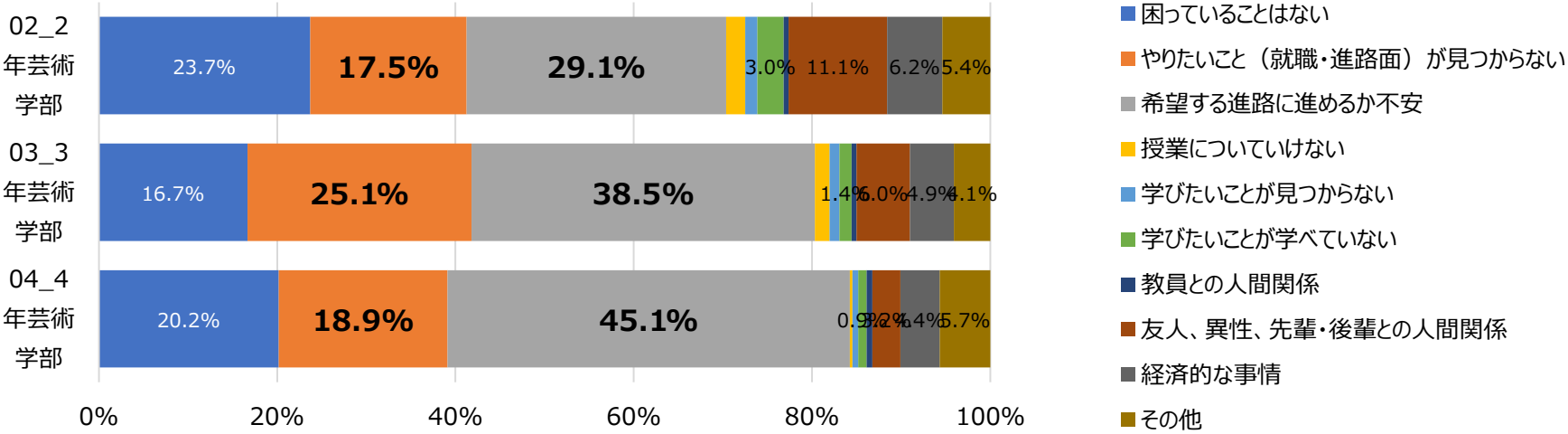


学生意識調査

P54の専門分野と職業のかかわりのアンケート推移と合わせて、「困っていること」への【キャリア・進路】への割合の増加が確認できる。

■ 学生意識調査 在校生版 設問一覧	学びへの意欲
	大学の魅力
	CP/DP理解度
	履修選択の考え方（楽単vs興味優先）
	入学後のイメージ変化/成長実感/おすすめ度
	大学教育の満足度（カリキュラム/授業内容…）
	教育施設の利用度（図書館…）
	授業の役立ち度（問題解決力…）
	カリキュラム評価（授業レベル高vs低…）
	力を入れたこと
	読書量/自習時間
	学びへの取組（予習・復習…）
	身に付けたい英語のレベル/留学経験/留学意向
	大学納得度
	興味関心の一致度
	再受験・退学の検討
	適応状況（友人/教員/校風・雰囲気）
	困っていること
	居住形態
	卒業後の進路、進路への準備状況
	独自設問

困っていること



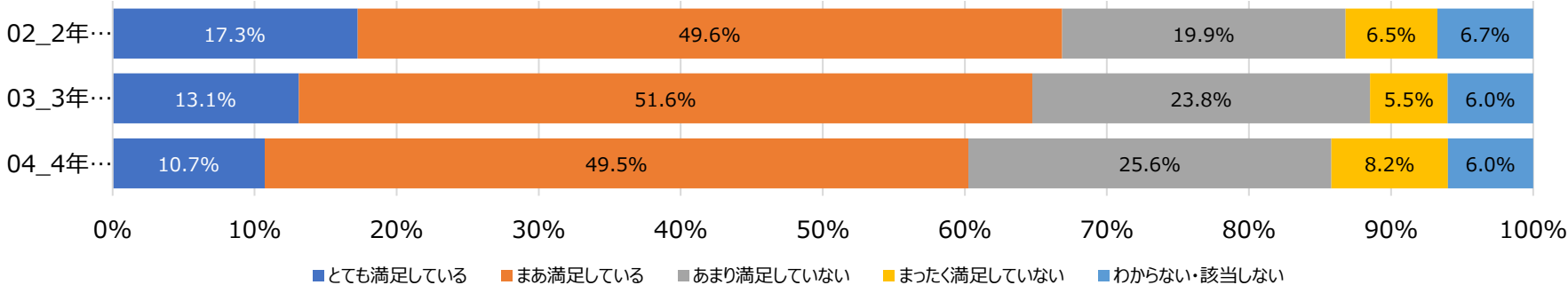


学生意識調査

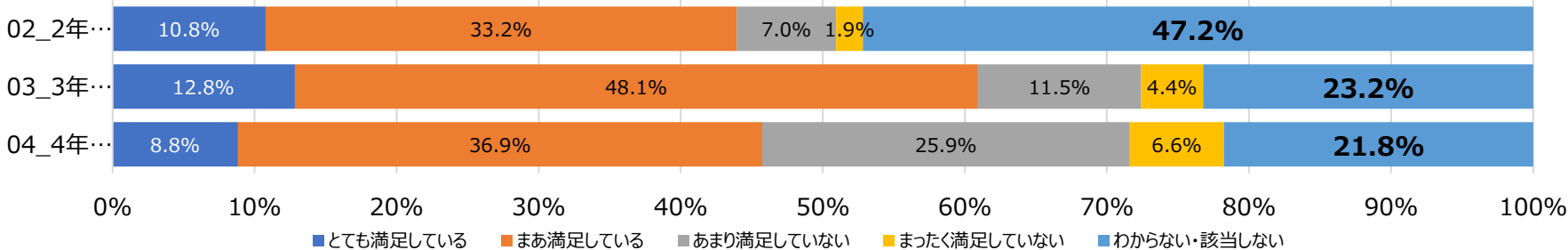
■ 学生意識調査 在校生版 設問一覧	学びへの意欲
	大学の魅力
	CP/DP理解度
	履修選択の考え方（楽単vs興味優先）
	入学後のイメージ変化/成長実感/おすすめ度
	大学教育の満足度（カリキュラム/授業内容…）
	教育施設の利用度（図書館…）
	授業の役立ち度（問題解決力…）
	カリキュラム評価（授業レベル高vs低…）
	力を入れたこと
	読書量/自習時間
	学びへの取組（予習・復習…）
	身に付けたい英語のレベル/留学経験/留学意向
	大学納得度
	興味関心の一致度
	再受験・退学の検討
	適応状況（友人/教員/校風・雰囲気）
	困っていること
	居住形態
	卒業後の進路、進路への準備状況
	独自設問

【キャリア・進路】への困りごとを回答する割合が上がる（p55参照）一方、大学教育の満足度の中でも【就職・進路支援】の満足度の割合は他サービスと比較して高くない点も注目される。
特に、【わからない・該当しない】が回答内訳の中でも大きな割合を占めており、そのサービスへのアクセスが十分でない状況がうかがえる。

キャンパス環境・学生サービス



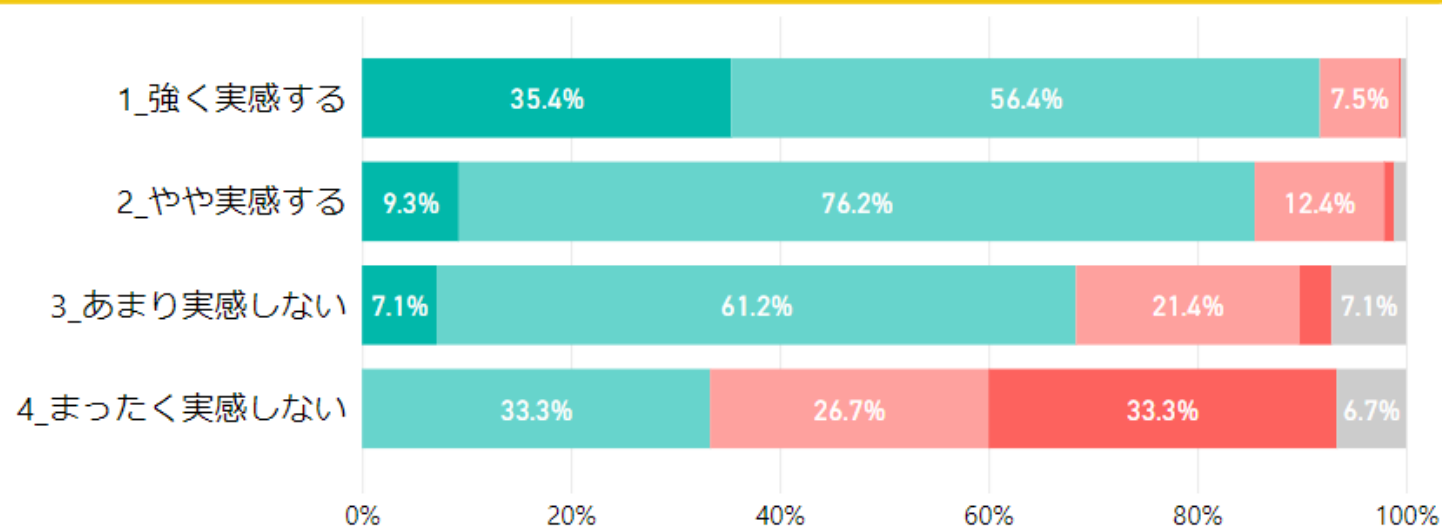
就職・進路支援





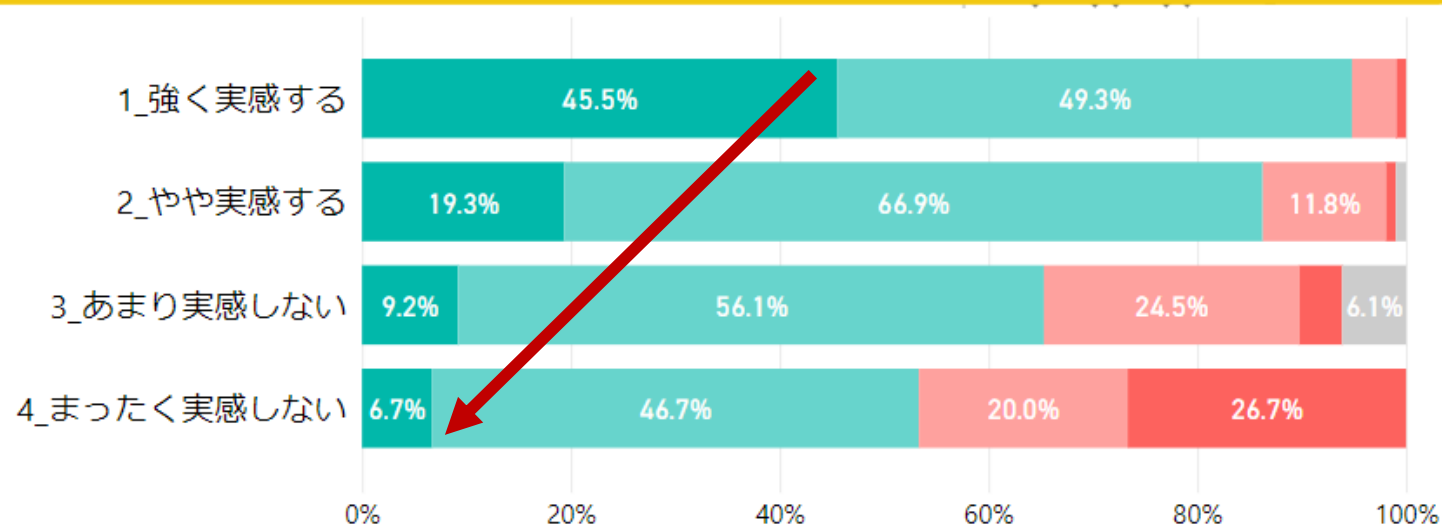
Q8_Q6_1_カリキュラム（入学から卒業までの科目配置や履修の体系）_大学教育・学生生活への満足度

- 1_とても満足している
- 2_まあ満足している
- 3_あまり満足していない
- 4_まったく満足していない
- 5_わからない・該当しない



Q8_Q6_2_授業内容_大学教育・学生生活への満足度

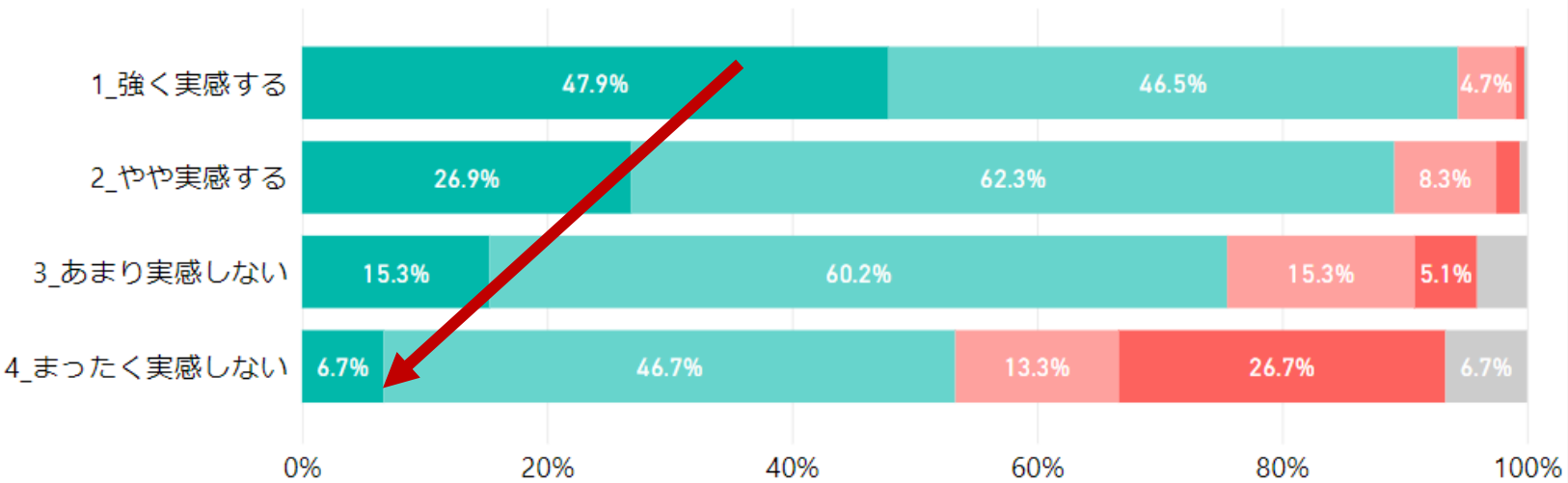
- 1_とても満足している
- 2_まあ満足している
- 3_あまり満足していない
- 4_まったく満足していない
- 5_わからない・該当しない





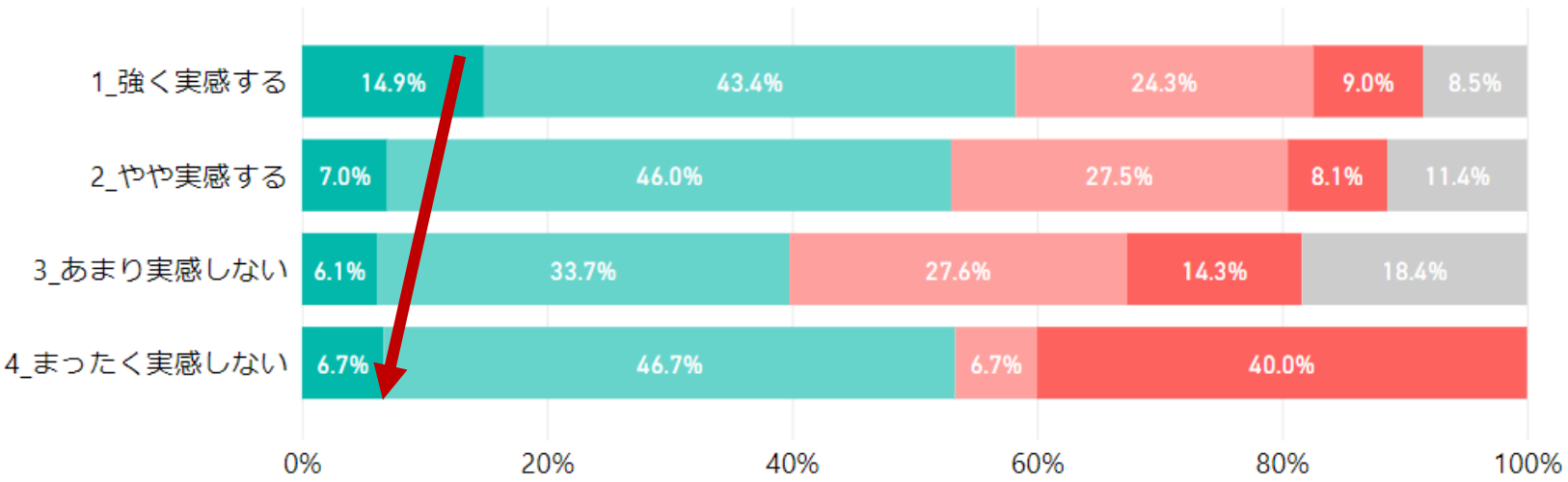
Q8_Q6_3_教員_大学教育・学生生活への満足度

- 1_とても満足している
- 2_まあ満足している
- 3_あまり満足していない
- 4_まったく満足していない
- 5_わからない・該当しない



Q8_Q6_4_語学教育・語学力向上支援_大学教育・学生生活への満足度

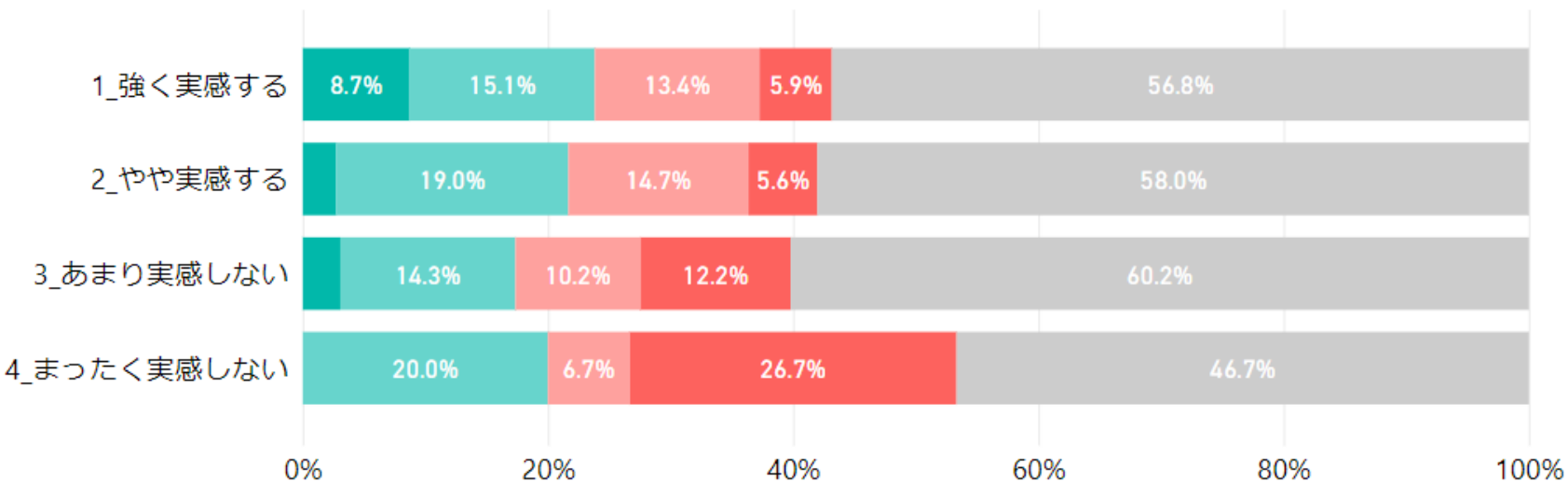
- 1_とても満足している
- 2_まあ満足している
- 3_あまり満足していない
- 4_まったく満足していない
- 5_わからない・該当しない





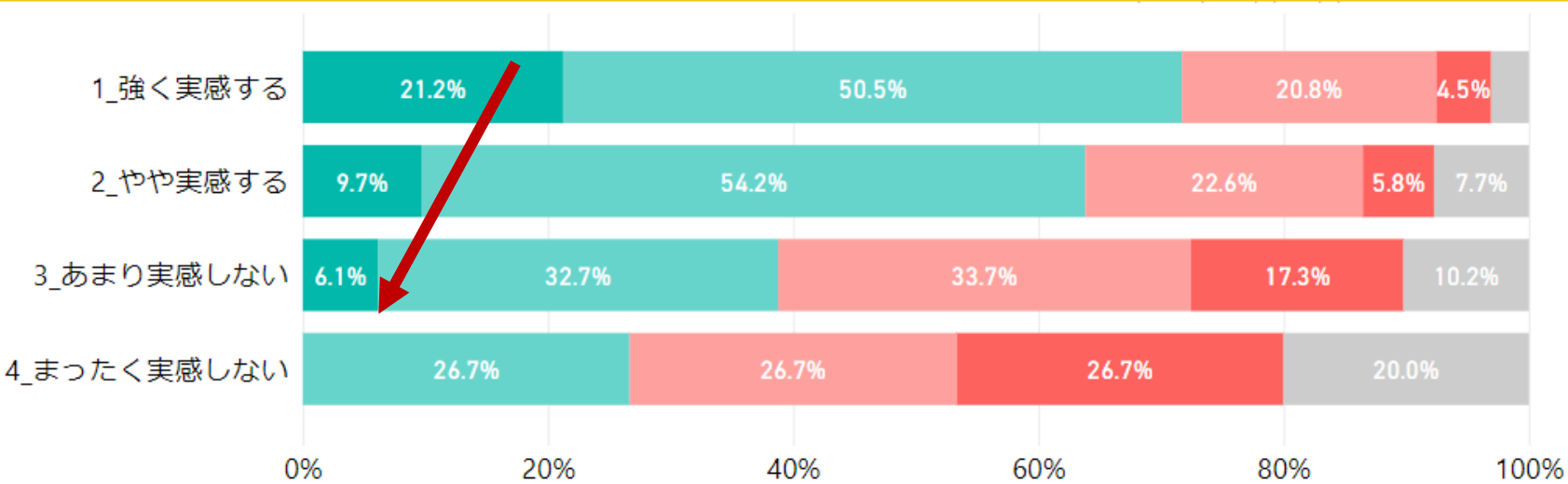
Q8_Q6_5_留学・国際交流支援_大学教育・学生生活への満足度

- 1_とても満足している
- 2_まあ満足している
- 3_あまり満足していない
- 4_まったく満足していない
- 5_わからない・該当しない



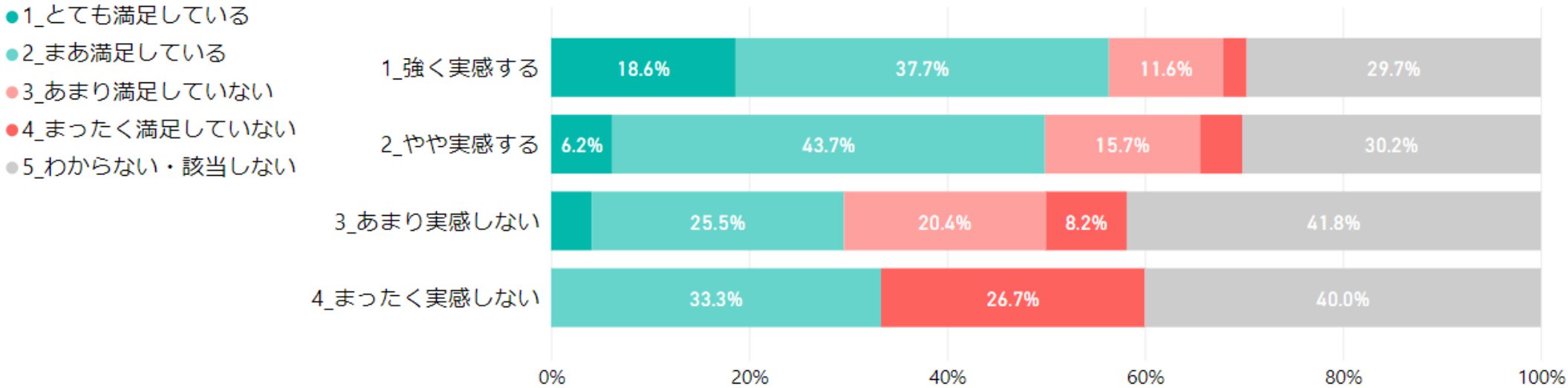
Q8_Q6_6_キャンパス環境・学生サービス_大学教育・学生生活への満足度

- 1_とても満足している
- 2_まあ満足している
- 3_あまり満足していない
- 4_まったく満足していない
- 5_わからない・該当しない





Q8_Q6_7_就職・進路支援_大学教育・学生生活への満足度



Q8_Q6_8_友人との人間関係_大学教育・学生生活への満足度

